にわづくり まちづくり

港北ニュータウン コミニティ緑化ガイドブック

1986

目　次

ごあいさつ…… 1

1.にわづくり・まちづくり …… 2

(1)　楽しく庭づくりを…… 2
(2)　これからの庭づくり…… 2
(3)　地域のにわも参考に…… 4
(4)　座談“民地の緑化と庭づくり”……10
●前庭スケッチ（写真）……14

2.コミュニティ緑化 ……16

(1)　期待される民地緑化……16
(2)　土地利用区分に沿った緑化ポイント……18
(3)　にわづくり・こんな点にも留意を……20
(4)　事業や行事も利用して……22
●緑化推進事業……24
(5)　わが家の記念樹を植えましょう……26
●生垣のつくり方……28
●生垣アラカルト（写真）……30

3.住宅地モデル緑化 ……32

(1)　住区緑化計画……33
(2)　植栽計画例……46
●生垣用植物（つるもの・地被編）……54
（樹木編）……56
●コミュニティ緑化関係機関位置図
港北ニュータウン地区……58
関内地区・保土ヶ谷地区……60

ごあいさつ

港北ニュータウン事業も、地権者の皆様方をはじめ、横浜市、住宅・都市整備公団、その他関係諸機関の方々の並々ならぬご尽力によりまして、ようやく市街化が進み始めました。特に本年２月には、待望の市営高速鉄道３号線の新横浜からあざみ野までの免許もおりまして、いよいよ開発も本格的に進み出すものと期待されます。

私達は、街づくりの過程におきまして、「市民参加のまちづくり」を基本理念として計画段階から実施段階まで広く地権者の皆様のご意見を頂いて、これを計画にとり入れて参りました。今後緑豊かな街づくりをすすめるためには、公共側で整備する道路・公園・緑道、公団で扱われる集合住宅地の他に、各地権者が所有する全体の過半数を占める住宅地の緑化は、街全体の緑をゆたかにし、地域になじんだ景観をつくり出すうえで重要な課題であります。

そこで当協会といたしましては、横浜市、住宅・都市整備公団・横浜市緑の協会等のご協力のもとに、各家庭の緑化推進のための手引書をつくりました。これから住宅等を建設なさろうとする方々のご参考になれば幸いです。私達のこの港北ニュータウンを、地域の歴史と文化を受継いだ緑ゆたかなふるさととして造りあげてゆこうではありませんか。

昭和61年初夏　財団法人 港北ニュータウン
生活対策協会

理事長　横塚　灝

1. にわづくり、まちづくり

公共のみどりも個人のみどりも、同じ植物としての環境効果をもたらします。庭のみどりは、個人のものであるだけでなく街全体の環境水準を支える大切な役割を果します。

(1) 楽しく庭づくりを

港北ニュータウンは、大部分が新しく造成された宅地となるため、新しく入居される方々にとっては既存の街へ移り住むのと違い、環境の変化が大きくいわゆる土地に馴染むまで、時間がかかることでしょう。しかしこの街は、道路・下水・公園などの整備が充分なされていますから、安心してご自宅の居住空間を、じっくり整えて頂きたいものです。

建築とくらべ庭づくりは、素人でもできる部分が多くイメージも自由です。趣味を活かすもよし、戸外室として大いに利用することもできます。勿論伝統的庭園を造られる方もおられましょう。

いづれにしても、個性を発揮し大いに楽しみながら庭づくりをすすめて頂きたい。

自由なイメージで造られる庭も、結果として街のみどりを増やすことになります。さらに街の景観を構成するうえで重要な役割を果すことができます。例えば生垣のつづく住宅街はしっくりと落着いた雰囲気があり、路ゆく人に“街のにわ”を思わせることでしょう。

このように個人の庭づくりの楽しさのみならず“街のにわ”づくりの楽しさも味わってみてはいかがでしょうか。

(2) これからの庭づくり

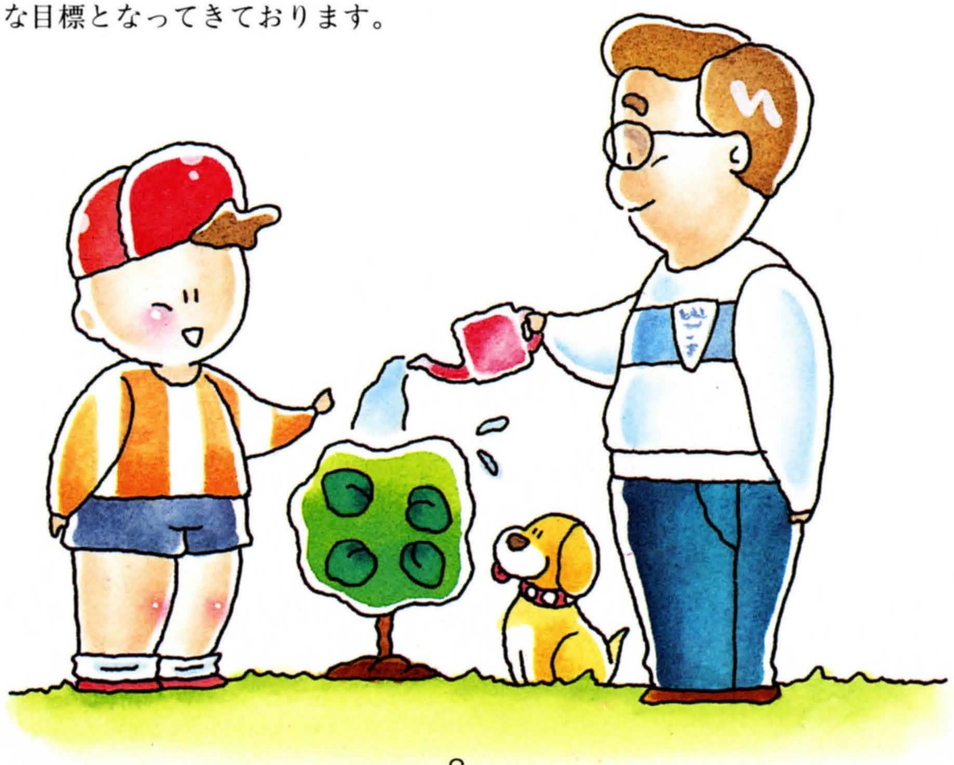
家と庭を合せて家庭と呼ぶように、庭は限られた土地を生活と有効に結びつけていくうえで、建築計画と並行して計画することが望ましく、また家庭生活のための施設（門・塀・車庫・物干・照明灯など）も庭の一部と考えなくてはなりません。

住宅の庭は、使い勝手のよいものと美しさを楽しむものとで構成され、両者がうまく組合わされています。手法としては、日本庭園の特色といわれる石組・植栽・垣根などを上手に採り入れ、外国で発達した芝生・花壇あるいは工芸品などを利用したいわゆる和洋折衷のものが多いようです。

庭を計画するにあたって、様式や手法にこだわらず庭の大きさや隣家との距離あるいは地割りなどの関係で、全体のイメージを決めておくことが大切のようです。細部にとらわれず、全体的な空間のまとまりを重視し、先ず庭の骨格をしっかりと構成したいもの。また家族の成長・変化に応じて庭の目的が変っていきますが、骨格として変らない部分をキチッと造っておくことによって、使い方に対応した庭の新陳代謝を図ることができます。

宅地が細分化されていきますとなかなか大きくなる木は植えにくくなりますが、〝木が１本あれば庭がつくれる〟と言われるように、庭の骨格として大きくなる木は効果的です。景観の変化にとぼしい最近の住宅地では、環境がゆるすかぎり大きくなる木を植えたいものです。高木による極めて印象的な街並みが形成されることでしょう。

またブロック塀などコンクリート構造物の囲障は最近、少なくなりましたが、これらを禁止したり隣地境界からの建物離隔を決めたりする、建築協定が住民相互の間で結ばれるケースが多くなりました。これは地域ぐるみでの〝庭づくり〟と言えるものでしょう。しかし協定がなくとも、各人が自分の庭ばかりでなく、街並をも意識した庭づくりを心掛けることがこれからは重要な目標となってきております。



⑶ 地域のにわも参考に

港北ニュータウンの計画地は、鶴見川中流域に広がるかっての農村地帯でした。この港北地区の農家は、小谷戸や山すそに構えられ豊かな田園地帯の居住空間をそなえておりました。その様子は今でも、造成地内の存置宅地や隣接地区の農家のたたづまいに見ることができます。そこでのにわの構成や植物の使い方は、これからの庭づくりにも示唆を与えてくれるものと思われます。敷地の大きさや役割の違いなど、状況は大きく異っていますが、例えば役立つ植物をうまくしつらえ活用している点などあげられます。

また、集落ごとに建立された神社は、鎮守の森として所を得、言うなれば神との出会いの場でありました。そこは広場としての空間性が極めて高く、みんなの集まるにわでありました。一方、寺の境内は、浄土へのあこがれと言いますか庭園的に表現され、花々に満ちているようです。

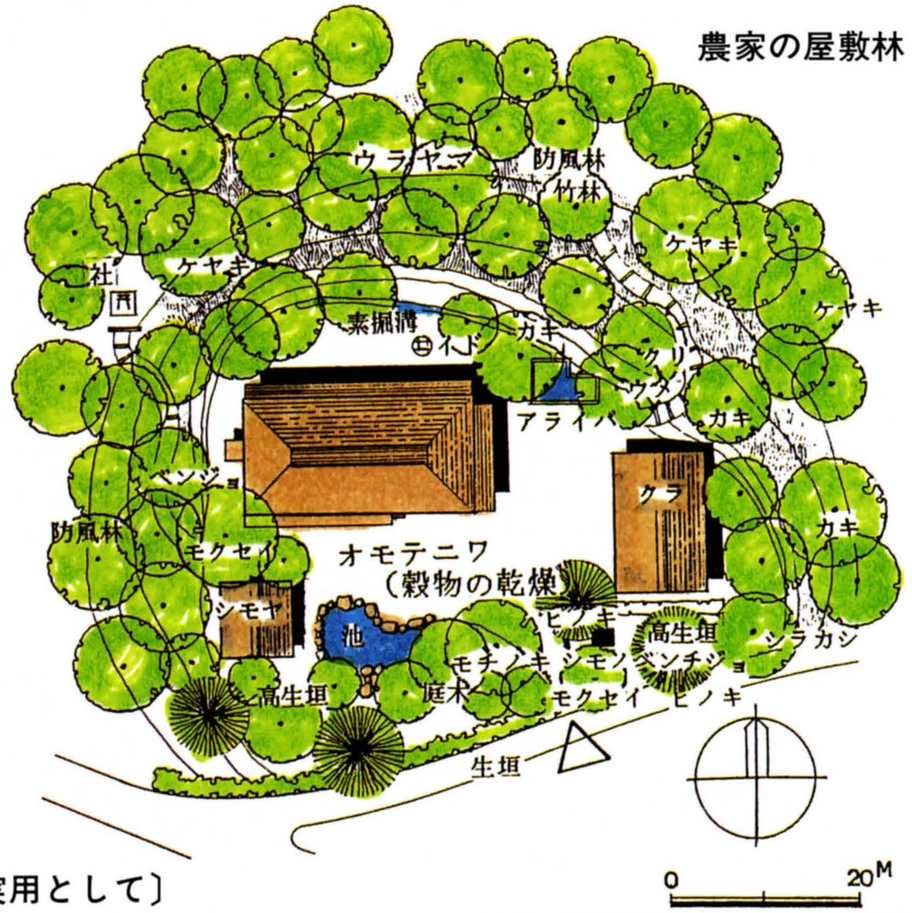
我家のにわのイメージを探るにあたって、この地域のこのようなにわも訪ねてみては、いかがでしょうか。

●農家の屋敷林

植物を栽培する技能が屋敷全体に発揮され、様々な役立つ植物が植えられています。

〔庭木として〕

仕立物	クロマツ、ゴヨウマツ、ツゲ、モチノキ
花木香木	ウメ、サクラ、コブシ、ツツジ、サツキ、モクセイ、ヒイラギ、ジンチョウゲ
防風用	ケヤキ、シラカシ、モウソウチク、ヒノキ、サワラ、シュロ
防火用	モチノキ、モクセイ、ツバキ、シラカシ、(蔵の冷却効果用を兼ねた。)
仕切り用	モチノキ、シラカシ、ツバキ、マサキ、サザンカ

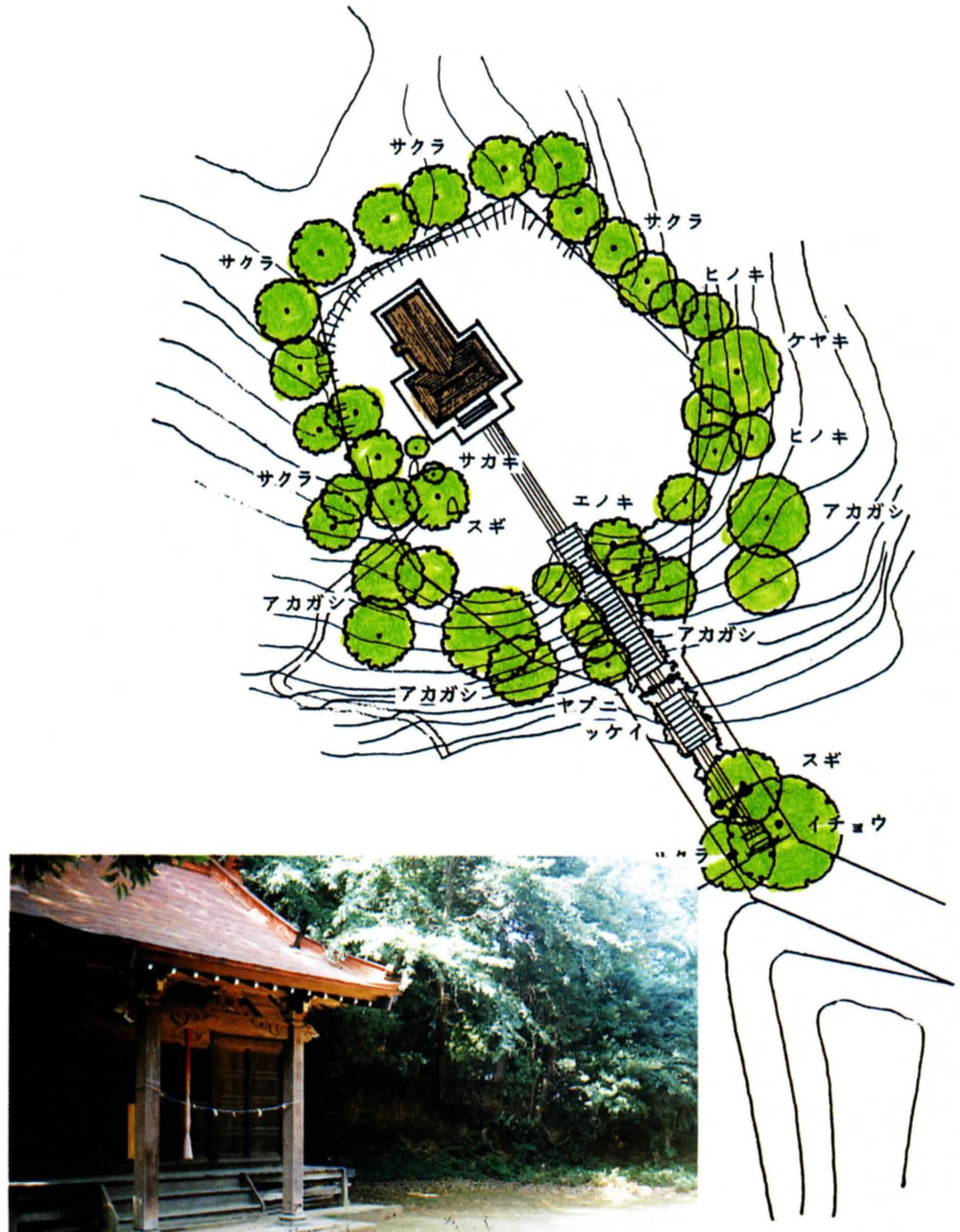


〔実用として〕

食用 薬用	カキ(品種ゼンジマル)、クリ、ウメ、モウソウチク、ミョウガ、チャノキ、アマチャ
	カシワ、クチナシ、イチョウ、コナラ、クヌギ(シイタケの原木)、キササゲ、カリン
	ユキノシタ、ドクダミ、フキ、セリ、ゼンマイ、ヨモギ、ユリの根、クコ
民具用	(皮、実を染料)クヌギ、コナラ、(釣り竿)メダケ、(実を染料)クチナシ、(ミノ)シュロ
	(家具)キリ、(下駄の歯、ポックリ)イチョウ、ホウノキ、(ザル、カゴ等の細工)モウソウチク
儀礼用 宗教用	(マユダマ、サイノカミ、正月用のハシ)カシ、(門松)マダケ、モウソウチク、クロマツ
	(オシャカ様の飾り)ツバキ、(スス払い)メダケ、(棺)クロマツ、(献花)サカキ、ヒサカキ
建築用 農業用	クロマツ、ケヤキ、キリ、(火に近い所の柱)ミズキ、(カドバシラ)ツゲ、(屋根の葺き替え)タケ
	(農業水路用タケドヨ給水管の代用、ワタリギ、稲の陰干用)モウソウチク、マダケ
	(つる野菜の支柱、風除)ケヤキ、クヌギ、コナラの枝、モウソウチクの枝(杭、支柱)クロマツ
	(田畑や家の境の境木として) ウツギ、ナンテン、ウメ

●神社の境内

高台の突端に構えられた神社の周囲の斜面地には、在来の常緑樹が森をつくっています。

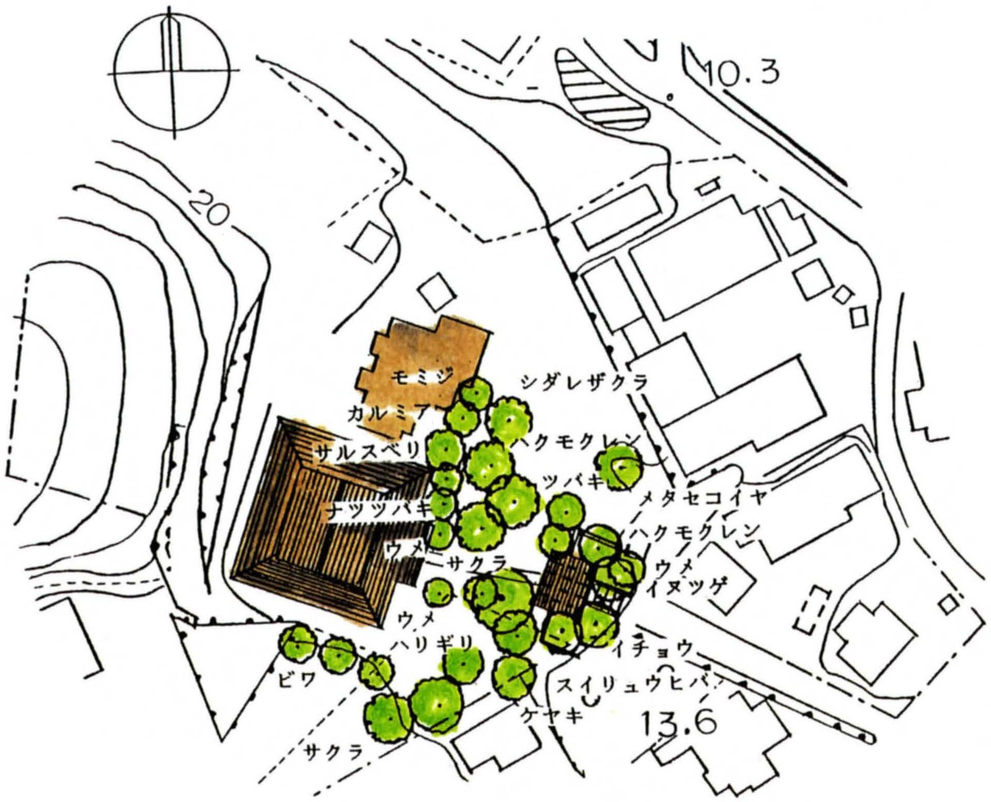


杉山神社

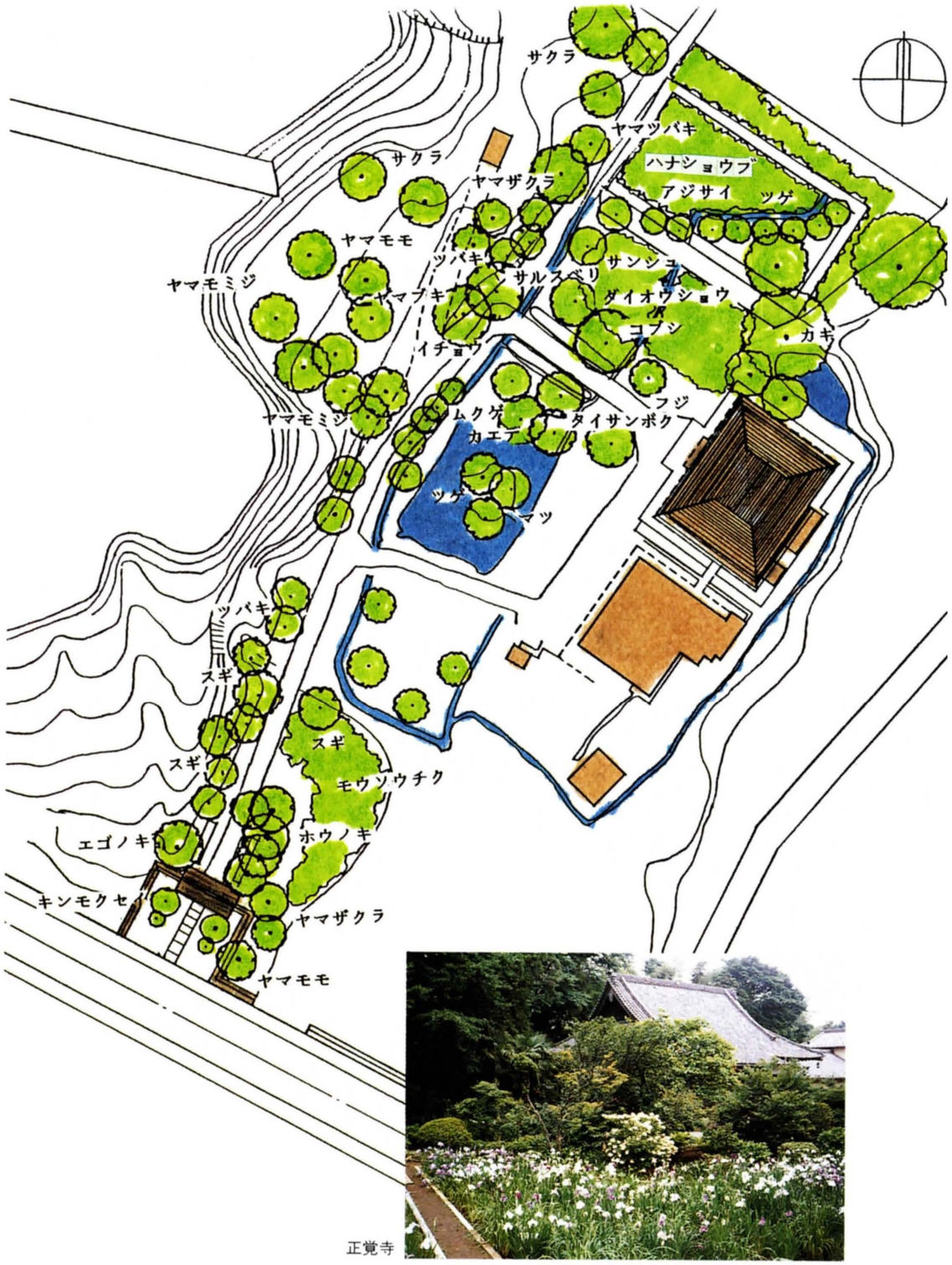
山田神社

●寺院の境内

谷戸ふところに抱かれた寺院の境内には湧水がとり入れられ、静かな庭園をなしています。その時代時代の新しい樹種が植えこまれてきました。



最乗寺



正覚寺

⑷ 座談 〝民地の緑化と庭づくり〞

H　港北ニュータウンの建設も地下鉄免許が漸くおり事業に拍車がかかる時期に参りましたが、公園緑道・街路樹などの公共緑化と両輪をなす民地の緑化が期待されてきております。そこで緑に感心の深いみなさんに、地域の緑化について語って頂きたいと思います。先ず緑に関する体験などから。

M　このニュータウンの、造成協力でいち早く移転せざを得なかった中で、緑のたっぷりある屋敷から何も無い宅地へ移り住んだ時は、どうしても落着かなかった。宅地周囲を緑化して初めて、こんなにも違うものかと思った。緑は誰にとっても必要なものであることを実感しました。

H　そもそも豊かな緑を形成していたこの港北地区のにわは如何だったでしょうか。農家の屋敷や使われている植物など、参考にできるものがありましたら。

J　従来の農家は、茅葺きの母屋を中心にして物置・車庫などがあり、井戸や池があった。財産家の屋敷には蔵があり南面に高生垣を備えていた。樹がいっぱいあって家が見えないくらいでした。敷地は大きく、今の街中ではこんな贅沢なものは到底とれませんから、参考にしようと思ってもむづかしいのでは。

Y　農家の屋敷構えの中で使われているケヤキは、関東地方の代表的な樹ですが、巨木になってきますので新しい宅地では、枝がはみ出し隣地に迷惑がかかる。防火樹としてイチョウやサンゴジュがありますが、葉が多く形

のよいサンゴジュなどは使えそうです。チャの生垣もあった。昔は自家製の茶を楽しんだがツバキと同様チャドクがついて大変。一般の家庭で手におえるか。

I　昔の庭樹には、マツ・ツゲ・モミジ・マキなどありますが、純日本風の建築にはあいますけど……。

H　この辺の生活で、昔からいろんな行事がありました。広い意味で緑との関係はいかがでしょうか。

M　廃れちゃうだろうと思ってた行事が、最近復活してんですね。不思議なんですが、あの世田谷でドンド焼きが盛況だとか。ウチの町内でも隣町から一緒にやらせて欲しいと申込みがあったり。オシャカ様は今度老人会主体でやっております。こういう行事はみな緑とのつながりがありますよ四季折々に。

Y　「お正月」のように個々にでもやれるものと、「虫おくり」のように集団でやるものとあって、後者はだんだん無くなってきています。松かざりやマユダマそしてドンド焼きは正月。雛祭りでは桃の花、端午の節句にはショウブやヨモギが使われてきました。こういうものは案外とり入れられるのではないでしょうか。同様にこの地域にある普段かえり見られてない植物や昆虫も緑を構成していく中で保存していきたいものです。薬用植物や水生昆虫など。あまりに導入物だけでは、さびしい。

H　新しいにわづくりのうえでお勧めできるものは、いかがでしょうか。

J　最近、和洋折衷の建物が多いなかでにわも変ってきました。〝あとで手

のかからんものを植えてくれ〟と注文されます。古来の代表的樹種黒松などは敬遠され、山どりもののシャラ・ヤマボウシなど比較的自然形のものが好まれるようになってきています。

Y　新しい宅地では植栽の方も変えて考え、落葉樹の花木を中心に疎林風に仕立てて陽だまりをつくり、下草などに薬用植物を入れていく。垣根には常緑樹を使いながら全体をまとめるのはどうか。

I　花の咲く樹には、モクセイ・ツバキそれからサクラ・ミズキ・コブシ・モクレン・ハクレンなどがありますし、よく使われます。

J　実のなる樹では、カキとかクリ・カリン・ウメそれからミカン・甘夏カン・キンカンなどがありますが、ミカンはとてもきれいですしお勧めできますね。関東地方は日本列島の中ほどにあるため、南の方の樹でも北の方のものでもほとんど大丈夫ですね。

H　緑化を推進するために新しい方策が必要かと思いますが……。

M　港北ニュータウン地域内には、緑を生産する農家が非常に多いわけですが、新しいまちがつくられていく中で、急所急所にこれらの人々の生産した樹木を供給できないかと、早くから希ってたわけです。このニュータウンづくりに、土地を提供して協力した人たちでつくっている「港北ニュータウン生活対策協会」として、生活対策の一環として緑を供給するシステムづくりができないものだろうか。

J　この広いニュータウンでは、入居が始まれば緑化材料の大量需要が産れます。今からその準備・体制を整えておく必要があるでしょう。またこのまちは、比較的大きな宅地も多く、庭づくりも進むと思いますので、我々が何らかの形で便宜を図っていかなければならないと考えます。そこで、飛躍的な意見かも知れませんが、安心して注文して頂くために「見本庭園」をいくつか造ってみてはどうか。

H　市民としても、あそこへ行けば見本が何時でも見れるということは、いいですよね。

M　展示即売は当然ですが、造園や病虫害防除も含む維持管理の機能も持った組織である必要がありますね。お客さんの希望に沿っていくためには。

H　これからも、このニュータウンが美しいまちになりますよう、努力して参りますので、御出席のみなさま方の御協力をお願いいたします。

■この稿は昭和61年４月７日に行った、つぎの方々による座談会を要約編集したものです。

小島喜治氏　生対協理事
　　北農協植木部会長
田丸政治氏　生対協理事
小泉常吉氏　北農協植木部副部会長
土屋幸之助氏　北農協港北ニュータウン担当
　　郷土史研究家
司会　生対協常務理事　土肥政彦

前庭スケッチ

生垣さえつくらず、大胆に道路から庭全体が眺められる。

樹種

1.サツキ　4.ミツバツツジ

2.サルスベリ　5.ヒメシャラ

3.ハナミズキ

石組　塩山御影石

建物のたたづまいとピッタリ合った低い植栽は、スッキリして気持ちがよい。

樹種

1.ヒメシャラ　4.カナメモチ

2.アラカシ　5.ドウダンツツジ

3.サツキ

縁どり　レンガ

樹木生垣を少し内側に入れ道路側にアイリスを咲かせる。手入れは外側からやり、地域の人々と花を楽しむ。

樹種

1.イチジク　4.サツキ

2.カナメモチ

3.ジャーマンアイリス

裾止　コンクリートウォール

古典的な仕立ものの植木が路から眺められ豪華である。草花のサービスも心にくい。

樹種

1.サルスベリ　4.マツバギク

2.イヌツゲ　5.ヒマラヤスギ

3.サツキ　6.ヤマモモ

土留　タイル貼ウォール

石組、竹柵の間に花ものをうまくあしらい工夫された感じがうれしい。

樹種

1.クロマツ

2.オトメツバキ

3.ヤマモミジ

石組　三波石

車庫の上にかけられたキウイ棚は、多目的利用の点のみならず住宅地の風景としてぬくもりが感じられる。

樹種

1.ウメ　4.アセビ

2.イヌツゲ　5.カキノキ

3.キウイ

石組　三波石

2. コミニティ緑化

(1) 期待される民地緑化

港北ニュータウン計画は、将来人口30万の規模をもち、この地域に住む多くの人々の参加を得て立案され、人々が快適に住みよりよい活動ができるよう、様々な必要施設が計画され土地が用意されています。

右の土地利用計画図(部分)が示すように機械的な施設配置を避け、車中心の幹線道路網とは別システムで、歩行者専用道路(約52km)や公園緑道（約15km）が街区を縫うように導入されて、有機的な土地利用構成を産みだしています。

永い農的活動によって育てられてきた雑木林は、公園緑地や広い宅地に抱えられた保存緑地として、また畑地は、ところを替えて地区南面一帯に生産緑地(農専地区)として展開されています。

横浜市や住宅・都市整備公団は、公園緑道・街路・学校・集合住宅地などの緑化を先行的基幹的に推め、このニュータウンの緑の骨格形成を図っています。

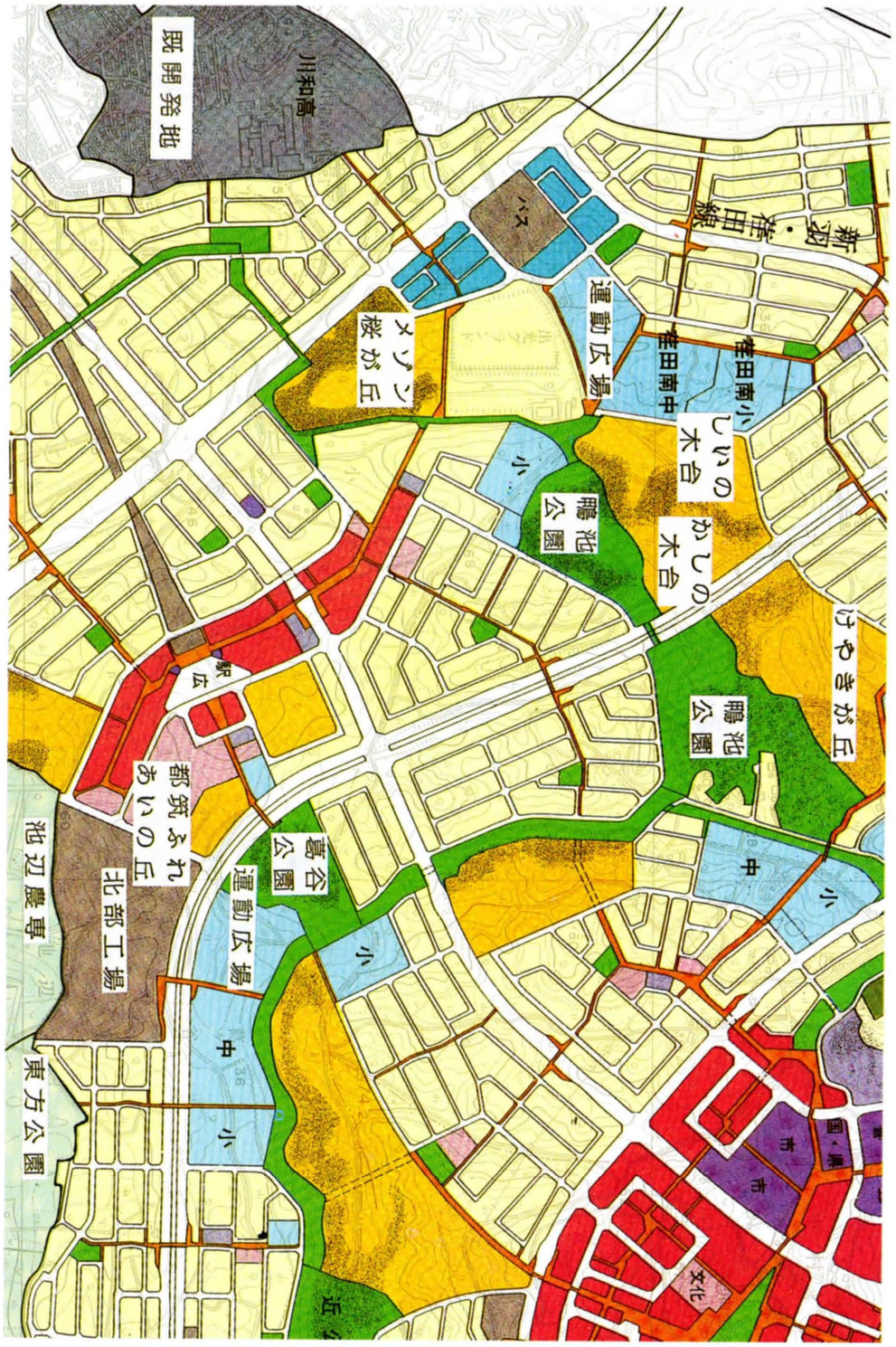
また市が建設する清掃工場や博物館などの施設は、その施設にふさわしい特徴的な緑化が計画され、大宅地に進出する企業施設は、市の指導のもとにこの港北ニュータウンのまちづくりに沿った緑化が図られます。

一方民地の宅地は、地域の環境整備とともにコミュニティ形成の契機となる重要な地域緑化の対象地と考えられ、土地利用別にそれぞれのぞましい緑化が期待されています。

〈凡例〉

公共施設用地	道路・駅前広場	
	歩行者専用道路	
	公園・緑地・緑道	
	河　川・水　路	
公益的施設用地	教　育　施　設	
	医　療　施　設	
	行　政　施　設	
	福祉・文化施設	
	商　業　施　設	
	都市運営施設	
	墓　　地	
住宅用地	集　合　住　宅　地	
	一　般　住　宅　地	
工　場　用　地		

港北ニュータウン土地利用計画図（部分）

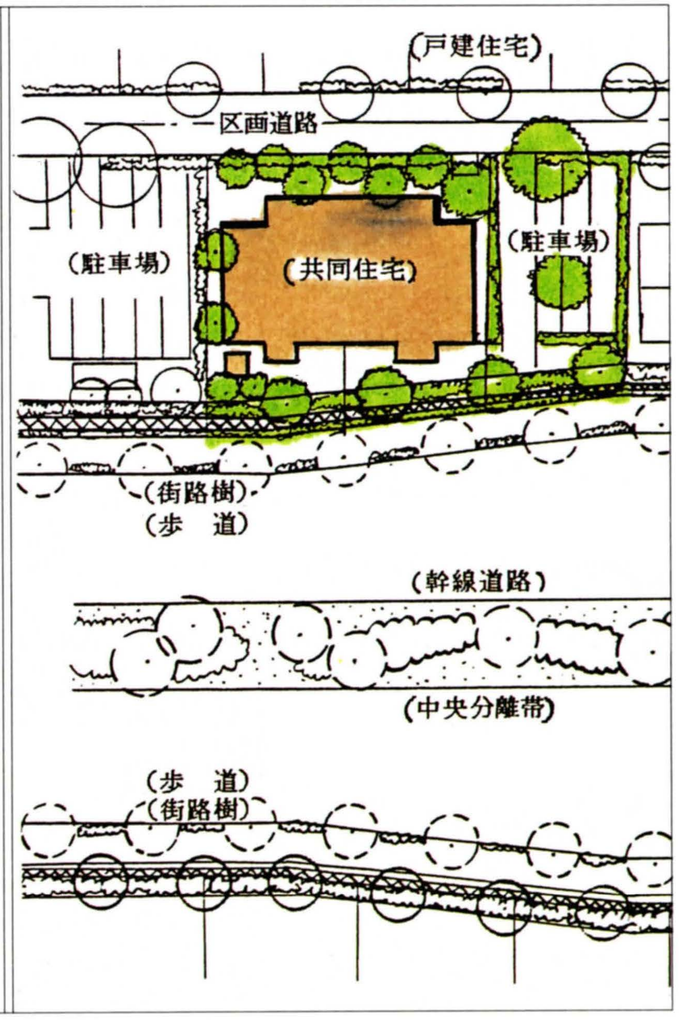


⑵ 土地利用区分に沿った緑化ポイント

地域の快適環境をつくり出していくうえで各宅地の緑化が果す役割は、小さくありません。一つ一つの宅地は小さくとも、緑化された宅地が連担することにより、一層効果がたかまります。敷地周囲の植栽や景観ポイントの高木植栽は、有効な緑化手法といえます。地域の緑化が効果的にすすめられるための土地利用区分ごとの緑化ポイントとして、つぎのような点があげられます。

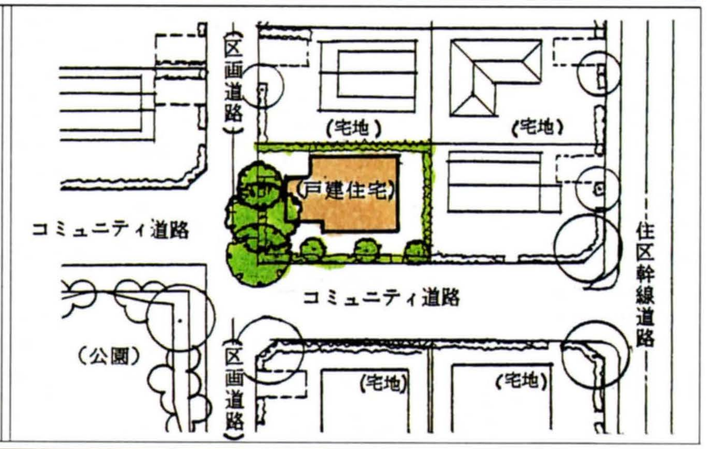
共同住宅地（第二種住居専用地域・住居地域）

ア．道路ぞいの生垣づくり
イ．建物の壁面を柔らげる中、高木植栽
ウ．駐車場や設備器機の前面植栽
エ．石積基礎部の余地に株物植栽
オ．敷地の15%緑化



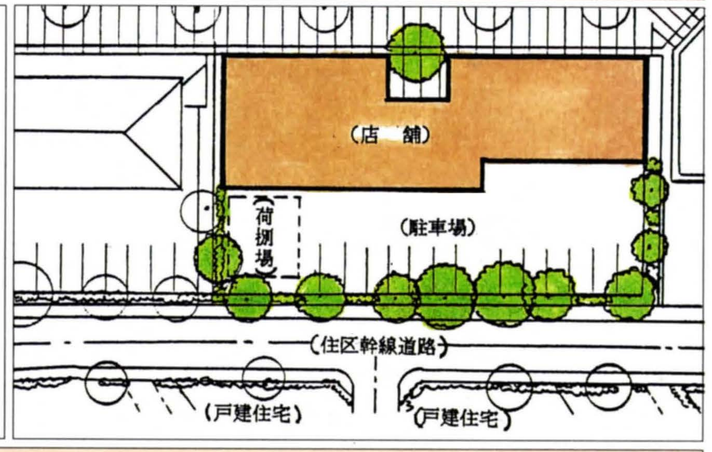
戸建住宅土地（第一種住居専用地域）

ア．敷地周囲の生垣づくり
イ．道路側に中・高木のシンボル植栽
ウ．敷地の20%緑化



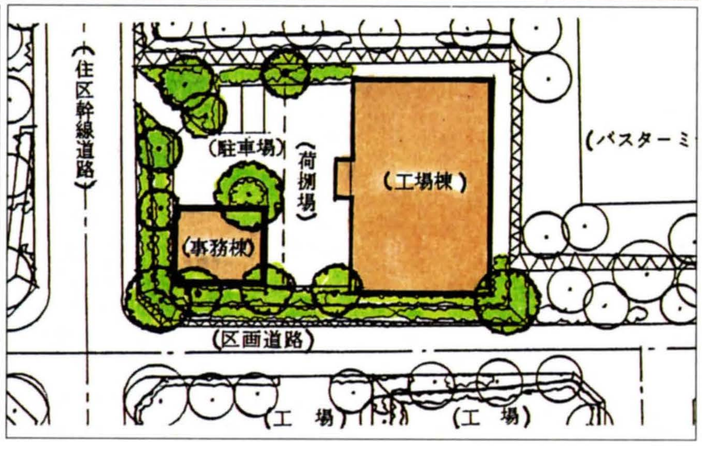
近隣センター地区（第二種住居専用地域）

ア．サービスヤードや駐車場の道路側に巾1mの植栽帯と中・高木植栽



工場倉庫等地区（準工業地域）

ア．道路側の植栽
イ．敷地の10%緑化



⑶ にわづくり・こんな点にも留意を

宅地購入の段階から庭ができるまでの間にいくつかの留意点が出てきます。家と庭の一体感や街の景観構成への参加を考えたとき、つぎのような点に留意したいものです。

ア．宅地購入段階

購入する宅地を周囲の宅地との高低差が大きい場合、日照・通風などに影響があるため、建物配置を想定したにわづくりの大まかなイメージを描いておきましょう。またその宅地が街区の中で、どのような位置的特徴があるかによる、街づくりにおける役割を是非考えておきたい。

植栽のためにその宅地の土が緑化に適しているかどうかも見ておきたい。特に仮設駐車場などに使っていた宅地は、砕石など多く含むため注意したい。

イ．建築段階

建物配置と庭の使い勝手は同時に検討しておきたい。南面に庭を広くとりたいためとかく建物を北側へ寄せすぎることが多い。境栽スペースや管理通路が窮屈なものとなるので注意したい。また外構計画においても敷地周辺の法面や石積の処理方法で徒らに植栽のための余地をなくさないで緑化地として活かしたい。

隣地との境界処理は、とかくトラブルの原因になりやすい。心持よい居住のためにもできるかぎり配慮しておきたい。

また建築確認申請に先立って、区画整理法第76条の許可申請が必要ですが、この手続きに伴って市による街づくり指導がなされます。外壁後退や緑化も含まれておりますので、予め最少限の緑化も考えておくのがよいでしょう。

ウ．造園段階

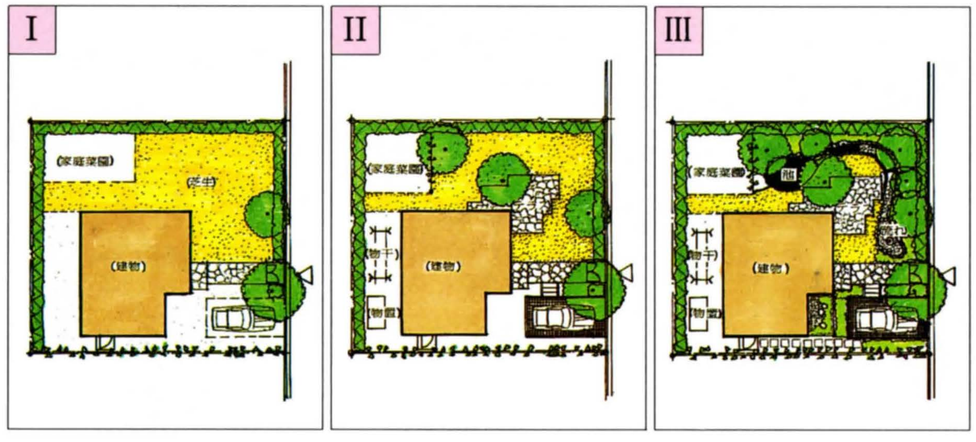
周囲から見られたくない部分の遮蔽には、極力植栽をして、少しでもみどりを生活にとり入れたい。大きくなる木は隣地界から離し、道路沿いに植え街の景観構成に参加したい。道路に面する部分は家庭と街の接触面です。住み手の人柄が偲ばれる造園を施し、積極的に植栽したい。また建物や庭へ降った雨は、地中へ浸透させたり溜めて庭の用水として使うなり有効に利用したい。

庭づくりは、資金面や家族の意向、工事の都合などで、当初から全てを造り切ることがむづかしい場合が普通です。そんなとき次のようなステップでつくっていくことも考えられます。

ステップⅠ　生垣など外周りの植栽・囲われた中の張芝、そして緑蔭のための木を１～２本先ず植える。

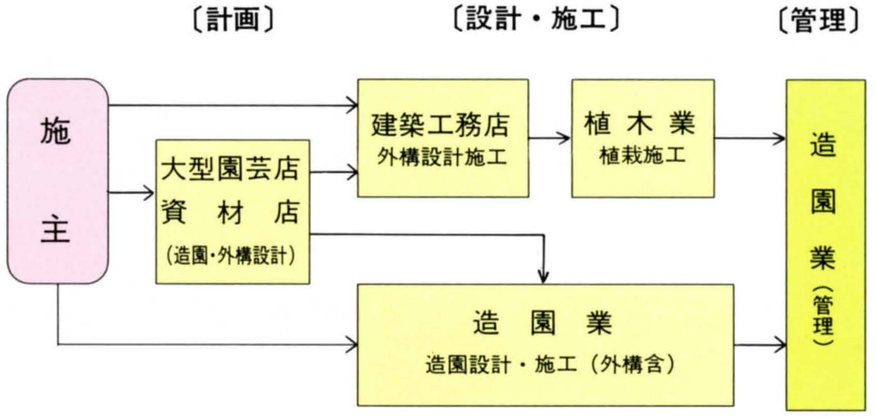
ステップⅡ　使い勝手に従って地割をし、景観面から庭の骨格的植栽を施す。

ステップⅢ　好みに応じ楽しみながら細部を造る。



●庭づくりの業者区分ケース

庭づくりを業者に委託する場合、大きく分けてつぎの４つのケースがあります。建築業者との関係や庭のつくり方などによって異るでしょうが、できるだけ早めに専門業者に相談してみるのが庭づくりをうまくすすめるコツでしょう。



⑷ 事業や行事も利用して

にわづくりにあたって手軽に相談できたり植木や資材が入手できるところがあると便利です。港北ニュータウン内にも今後、この種の相談所や即売場あるいは見本庭園などの施設ができていくでしょうが、今のところ、以下のような施設や機関が利用できます。

緑化関係の行事も多数催されますので、計画的にこのような機会を利用するのも一つの方法でしょう。

また、個人個人でなく地域で団体を結成することによって、横浜市緑の協会などの緑化推進事業(次葉)の援助がうけられます。

ア.相談

- 緑の相談所(園芸相談)
  三ツ沢公園緑の相談所
  TEL. 311－0775
- 横浜市緑化センター(緑化相談)
  TEL. 711－0635
- 横浜市こども植物園(緑化相談)
  TEL. 741－1015

イ.販売ほか(即売会など)

- **北農協本所**(緑区東方町1401)・**中川支所**(港北区大棚町127)
  TEL. 942－2311　　TEL. 591－3621
- **新田支所**(港北区新吉田町2545)・**都田支所**(緑区池辺町2707)
  TEL. 531－7241　　TEL. 941－2301
- **山内支所**(緑区新石川1-20-10)
  TEL. 911－1211

ウ.施工ほか

- 神奈川造園業協会
  中区常盤町２－10伸光ビル
  TEL. 662－8793
- 横浜市造園協力会
  中区住吉町２－15三興ビル
  TEL. 662－9897

エ.行事

- 花と緑のスプリングフェアー
  毎年４月　　会場　横浜公園
- 花壇展
  毎年５月　　会場　山下公園
- 開港記念バザー
  毎年６月２日までの１週間
  会場　横浜公園
- 農協まつり
  毎年11月　　会場　北農協本所
- 農協支所まつり
  毎年５月　　会場　各支所
- バラ展
  毎年５月・10月　会場　高島屋
- 朝顔展
  毎年８月　　会場　三溪園
- 菊花展
  毎年11月　　会場　野毛山公園
  三溪園
  緑化センター

●植木の流通

横浜市は県下でも有数の植木産地に発展しました。約７００戸の生産者があり、その半数が造園業を営んでいます。

生産品は庭園用完成樹木が多く、土質や気候にあったツバキ・サザンカ・モッコクを中心にクロマツ・サツキ・シャクナゲから地被にまで至っている。

業者が参加して行われるセリ市場(北農協主催)や業者間の契約栽培、あるいは流通専門の卸売業者を仲介する販売がありますが、生産農家の庭先で販売する方式も多く見られます。

一般市民のみなさんが植木を購入する場合は、園芸店のほか、農協の即売会などを利用するのがよいでしょう。

●緑化推進事業

(財)横浜市緑の協会では、「よこはま緑の街づくり基金」に次のような制度を設けておりますので、地域で緑化事業を行う場合にご利用できます。

1　地域緑化事業

住民の熱意と協力により、緑化計画が進められている地域を対象に実施いたします。

(1) 対　象　　町内会、商店街等の地域団体

(2) 内　容　　事業費の３分の２を限度に助成いたします。

2　ちびっこ緑化事業

子供達が緑を大切にし、緑の街づくりへの参加を進めるため、子供達が育苗した花苗をグリーンボックスに植えて通学路や地域の施設に配置する場合、資材を提供いたします。

(1) 対　象　　学校(児童会)、子供会等の団体

(2) 内　容　　１団体当たり、グリーンボックスを100個と、それに必要な用土、種子及び球根を配布します。

3　緑のベルトづくり事業

地域の緑の拠点である公園や学校を中心に緑を広げるため、周辺の道路に面した塀の生垣化と緑化を助成します。

(1) 対象及び内容

ア　既存の塀を生垣へ転換する場合は、1ｍ当たり4,000円を助成します。

イ　フェンス等既存の塀をつる性植物で緑化する場合は、１ｍ当たり1,000円を助成します。

ウ　生垣を新設する場合は、１ｍ当たり3,000円を助成します。

4　グリーンボックスの貸出

緑化する空地の少ない町内会、商店街等が地域に花と緑を積極的に増やす場合、緑化用のグリーンボックスとそれに必要な用土を提供します。

(1) 対　象　　町内会、商店街等の地域団体

(2) 内　容

ア　小型グリーンボックス１団体当たり100個

イ　大型グリーンボックス１団体当たり10個

5　記念植樹事業

地域団体や企業・団体が、その活動の節目を記念して植樹事業を行う場合、地域等のシンボルとなる樹木を贈ります。

(1) 内　容　　１団体当たり１本

6　緑の街づくり推進団体活動事業

地域で緑の街づくりを推進する緑化団体の結成と活動を援助します。

(1) 内　容

ア　緑の街づくり推進団体の組織化と登録

イ　登録団体への緑化用苗木等の配布

ウ　登録団体を対象とした緑化研修会の開催

エ　地域別（区単位）緑化推進活動への助成

●問合せ・申込先

(財)横浜市緑の協会

TEL.661-0691　〒231 横浜市中区日本大通15(朝日会館5F)

●人生記念植樹配布事業

横浜市では人生で思い出を残す意義深い、出生、結婚などの喜びをお祝いして記念の苗木(ツバキあるいはサザンカ)を差し上げております。

●申込先(各区、区民相談室、支所)

港北区役所　TEL.543-1212　港北区大豆戸町26-1

緑区役所　TEL.933-1212　緑区寺山町118

緑区山内支所　TEL.901-1212　緑区あざみ野2-3-2

⑤わが家の記念樹を植えましょう!!

新居をかまえた記念に、結婚や誕生、入学などの長い人生に節目を与えてくれるいろいろな記念に、わが家の庭に植樹をしてはどうでしょう。

好きな木や思い出の木を選べばよいわけで、とくに値の高い木を選ぶことはありません。ただ、庭を占領されないように、あまり成長の早すぎない木を植えましょう。

ア．花木 ウメ、マメサクラ、ハナモモ、アンズ、サルスベリ(写真右)、ナツツバキ、ハナミズキ(写真左)、コブシ、ハナカイドウ

イ．果木 ウメ、アンズ、ユスラウメ、グミ、ユズ、キンカン、カキ(写真左)、ザクロ(写真右)、ベニスモモ

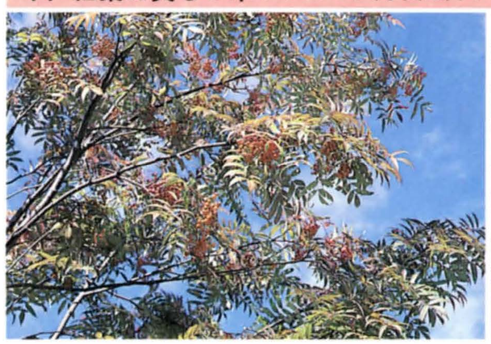
ウ．伝統的庭木 クロマツ、モチノキ、ユズリハ(写真左)、イヌツゲ、モッコク(写真右)

エ．行事に使う木 ドイツトウヒ、ヒイラギ(写真左)、サカキ、ハナモモ(写真右)

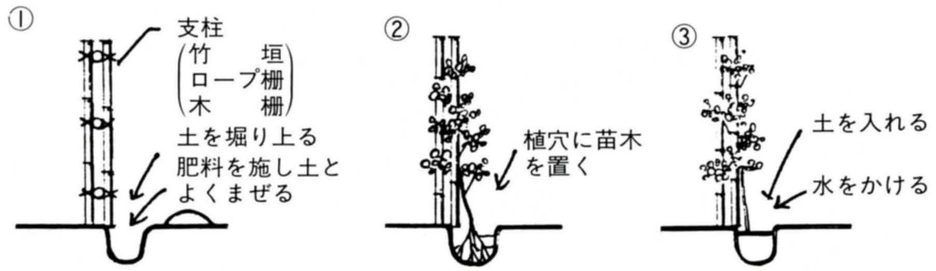
オ．香りのよい木 キンモクセイ(写真左)、ギンモクセイ、ヒイラギ、ウメ、ライラック(写真右)

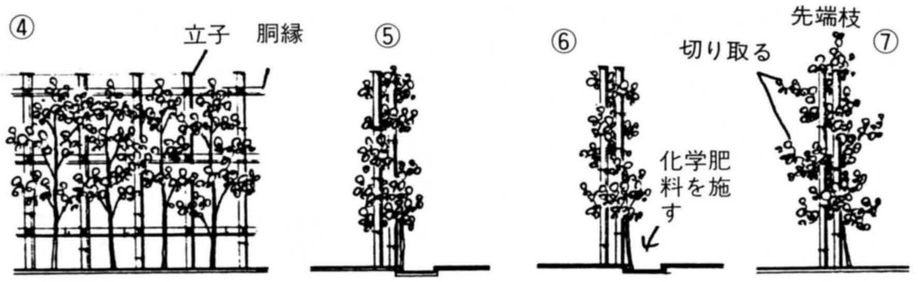
カ．新葉の美しい木 ベニカナメモチ(写真左)、ベニスモモ、モミジ(写真右)、カツラ

キ．紅葉の美しい木 ナナカマド(写真左)、ヤマモミジ(写真右)、カキ、ハナミズキ、ヤマボウシ



●生垣のつくり方(樹木型)



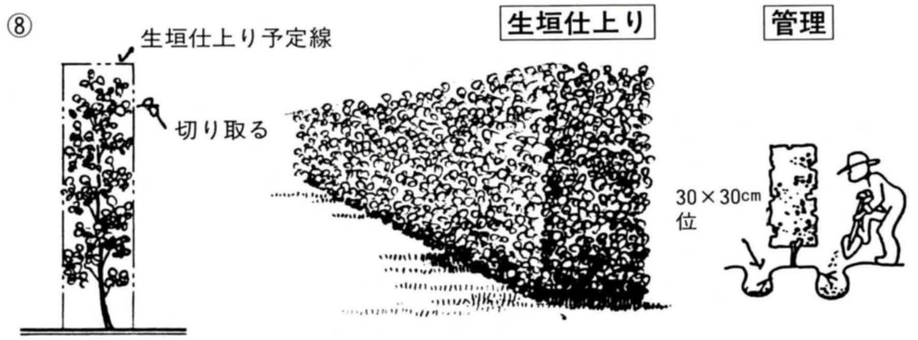


●苗木は動かないように枝を横に広げて立子や胴縁にシュロ縄で固定する。

●苗木が活着するまでは8～10日に1回位の割合で水をたっぷりかける。

●活着後は速効性の化学肥料を水で薄めて根元に施す。

●徒長枝やみにくい枝は切り取る・先端枝は生垣の予定の高さになるまで切り取らずに伸ばす。

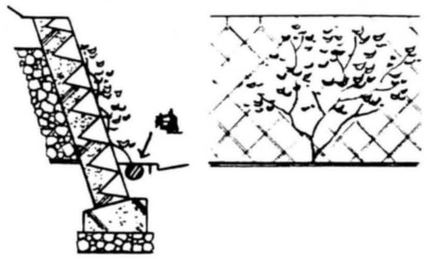


●⑦をくり返しながら分枝をはかり、生垣の予定線まで伸ばす●分枝をはかるには、年2～3回程度の剪定を行い化学肥料を施す。

●管理は剪定、中枝抜き、施肥、灌水、病虫害駆除等を適度(年2～3回)に行う●葉のつきが悪くなったり、下枝が上るようになったら、図のような根切りを行う。

●生垣のつくり方(つるもの型)

(1)ナツヅタをはわせる(間知ブロック、コンクリートウォール)

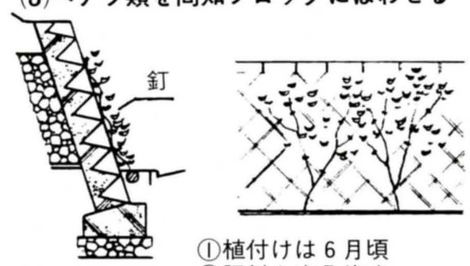


①植穴20×20cm位
②植穴に肥料を施す
③植穴の間隔1.0～2.0m位
④植付けは3月頃
⑤苗は細根の多いものを選ぶ
⑥苗は根部から30cm位残して切る
⑦ブロックに吸着するので誘引の必要はない
⑧剪定は落葉したあと吸着していない小枝を切る程度でよい

(2)イタビカズラ類をはわせる(間知ブロック、コンクリートウォール)

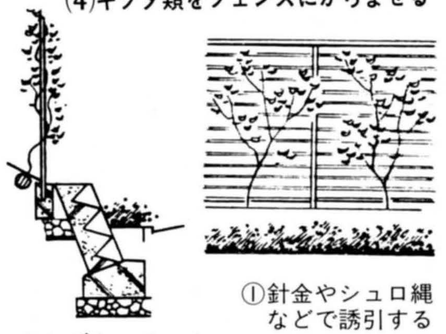
①植付けは6～7月頃
②植穴の間隔は1.0~2.0m位
③石積の上・下からはわせると短期間でブロックが埋まる
④小枝の抜けている部分は萌芽した枝を誘引する

(3)ヘデラ類を間知ブロックにはわせる



①植付けは6月頃
②肥料を充分施す
③小さい苗を植えて気長に育てるとよい
④他種に比べると成長が遅いので枝は釘等で誘引する

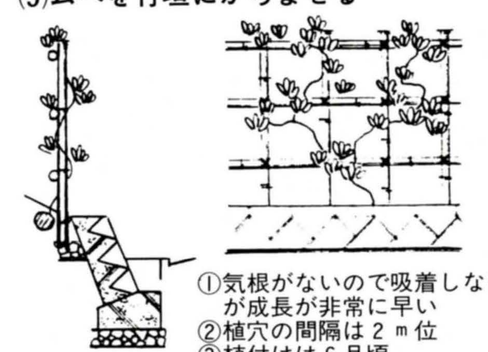
(4)キヅタ類をフェンスにからませる



ナツヅタ、チョウジカズラ、ヘデラ類、イタビカズラ類

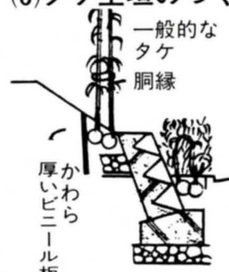
①針金やシュロ縄などで誘引する

(5)ムベを竹垣にからませる



①気根がないので吸着しないが成長が非常に早い
②植穴の間隔は2m位
③植付けは6月頃
④根部から50cm位幹を残して切り取り、新芽を誘引する

(6)タケ生垣のつくり方



①タケを植える
②親柱、立子を立てる
③胴縁および押縁を当ててシュロ縄で結束する

ホウライチクの生垣
①本年生のタケを夏から翌春にかけて曲げて作る
②小枝はシュロ縄などで誘引する
③古くなった場合は新しいタケを使う
④肥料を充分施す

生垣アラカルト

①ナツヅタ　②アジサイ

③クロガネモチ　④ベニカナメモチ

⑰ヤマツバキ　⑱カナメモチ

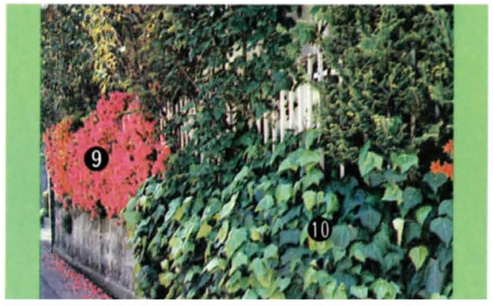
⑲スギ　⑳シラカシ

⑤ヒバ　⑥マツバギク

⑦ドウダンツツジ　⑧ヤマモミジ

㉑キンモクセイ　㉒ヒバ

㉓ノムラモミジ　㉔ニッコウヒバ



⑨サツキ　⑩ヘデラ

⑪コブシ　⑫アベリア

㉕カキ　㉖マサキ

㉗ヤマモモ　㉘ウバメガシ

⑬オオムラサキツツジ　⑭フユヅタ

⑮タマイブキ　⑯ユキヤナギ

㉙ケヤキ　㉚イボタノキ

㉛モチノキ　㉜マメツゲ

3. 住宅地モデル緑化

共同住宅地と戸建住宅地とで構成される一般住宅地をとりあげ、緑化計画を試みました。

一つの住区をモデルとして選び、緑化目標と主要な緑化手法を提案し合せて植栽計画例を提示しております。

(1)住区緑化計画

緑ゆたかな住区を構成するため、住区の骨格をなす各街路の性格と、角地など位置的特性による宅地の役割に沿って、下記の緑化目標を設定し、それらを実現するための主要な緑化手法を掲げております。そして住区の緑化計画を示す代表的な6地点（下図）を選び、以下に具体的な植栽計画を展開しております。

■ 街路に沿った緑化目標

ア. 地区幹線道路沿い　(街路樹のある掘割空間の側面)

⊙緑ゆたかな街並景観の形成

〔石積面のカバーグリーン・石積上下部の緑化〕

イ. 住区幹線道路沿い　(住区の歩道付進入路)

⊙住区の表通りにふさわしい緑蔭のある街並づくり

〔住区緑蔭並木〕

ウ. 区画道路沿い　(巾6Mの住宅地道路)

⊙愛着のもてる街並づくり

〔生垣・花壇・各戸シンボル樹〕

〔グリーンベルトによる前庭づくり〕

エ. 歩行者専用道路沿い　(人声のある落着いた空間)

⊙歩く人の目を楽しませる緑化景観づくり

〔花ものによる連続生垣〕

オ. コミュニティ道路沿い　(人間優先の広場的空間)

⊙表情ゆたかな路地景観づくり

〔勝手口緑化・果樹植栽〕

■ 位置特性に沿った緑化目標

カ. 住区導入部分　(地区幹線道路からの入口空間)

⊙住区の玄関口として個性ある緑化景観を形成

〔住区導入並木〕

キ. バス停導入部分　(歩専道橋によって隣接住区へつながる変化のある空間)

⊙地形変化を活かした特徴的緑化景観づくり

〔街庭づくり〕

ク. 幹線歩専道導入部分　(住区から街の中心地へつながっていく入口空間)

⊙異空間へ向う特徴的緑化空間づくり

〔回廊緑化〕

ケ. 角宅地の角地部分　(住区景観に特徴を与え位置の目印になる重要地点)

⊙住区のサインとして景観にフレームを与える高木緑化

〔住区シンボル樹〕

コ. 道路正面宅地部分　(住区景観の印象を左右する重要地点)

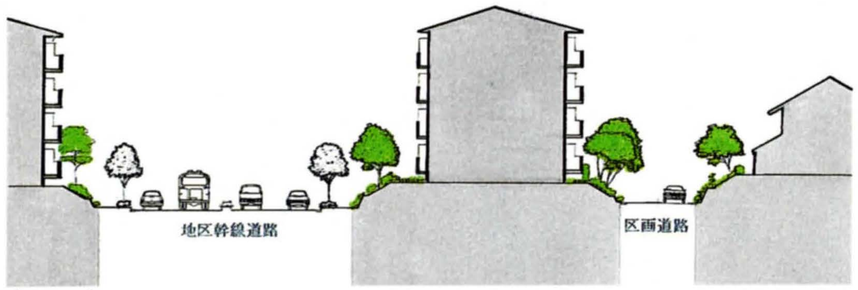
⊙印象的な緑化景観づくり

〔アイストップ緑化〕

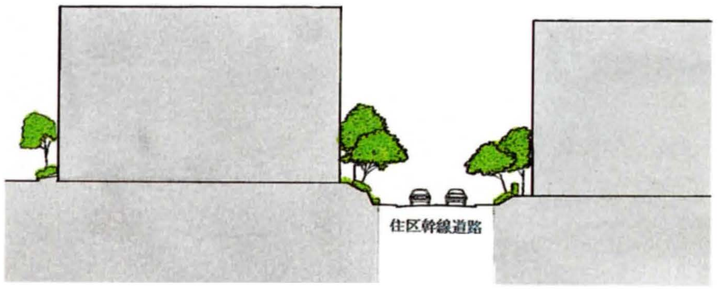
■共同住宅地 A-1地点

■平面図

■断面図(X—X')



■断面図(Y—Y')

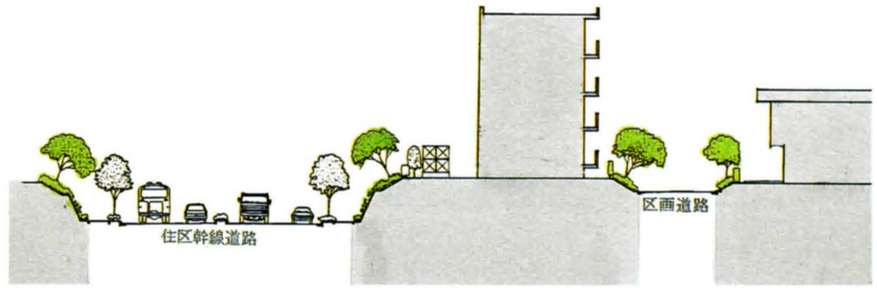


■パース

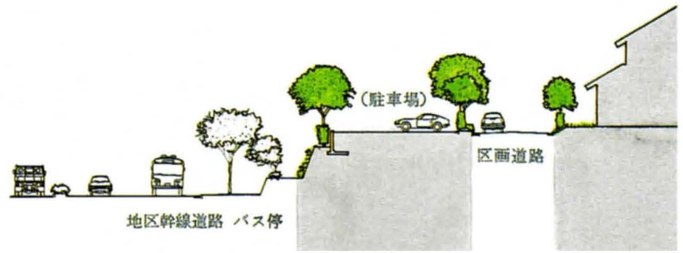
■共同住宅地 A-2地点

■平面図

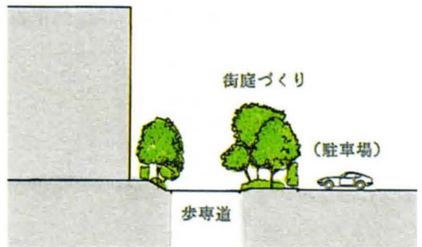
■断面図(X—X′)



■断面図(Y—Y′)



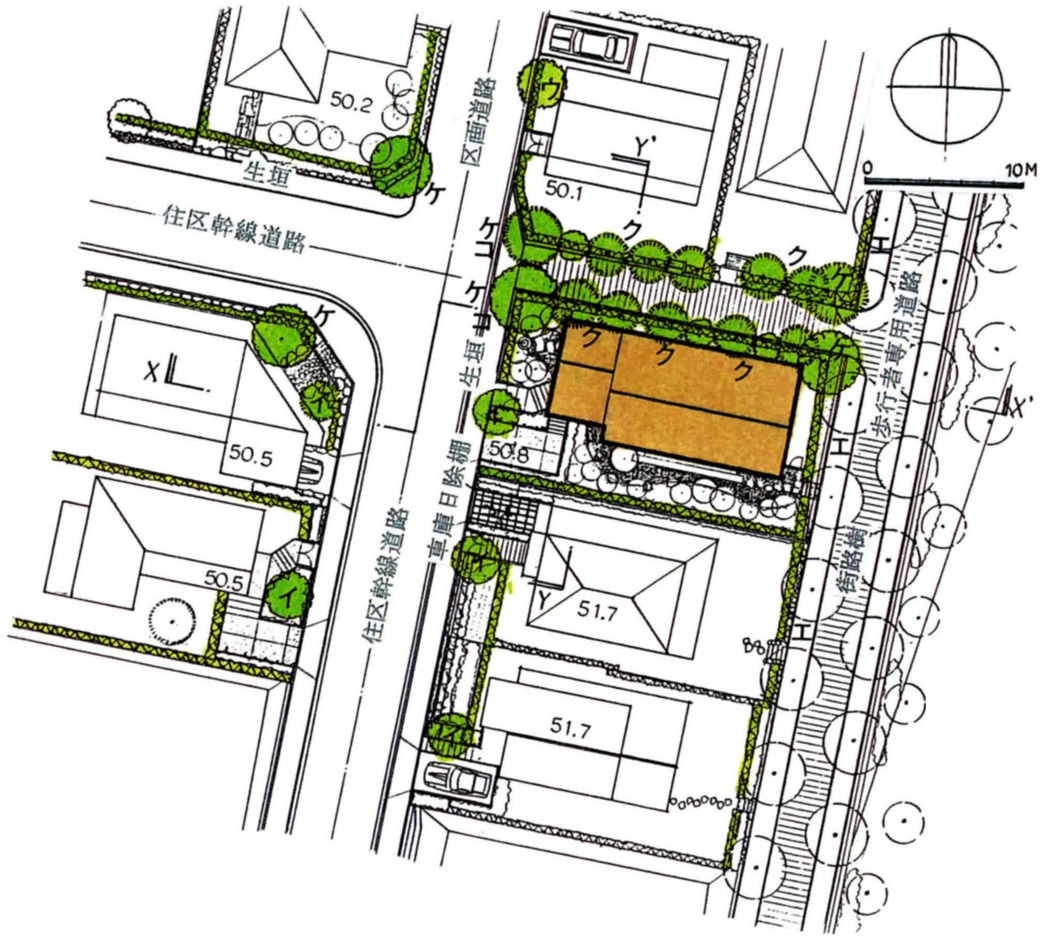
■断面図(Z—Z′)



■パース

■戸建住宅地B-1地点

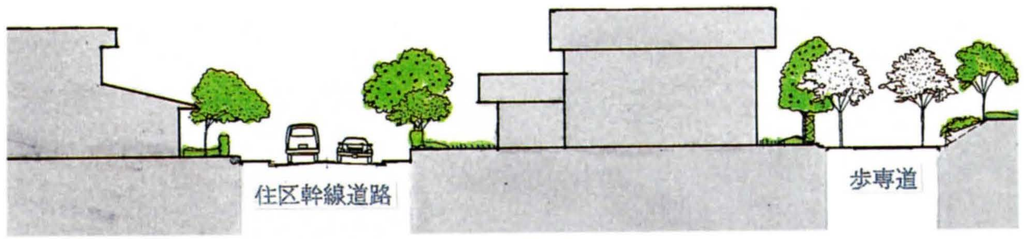
■平面図



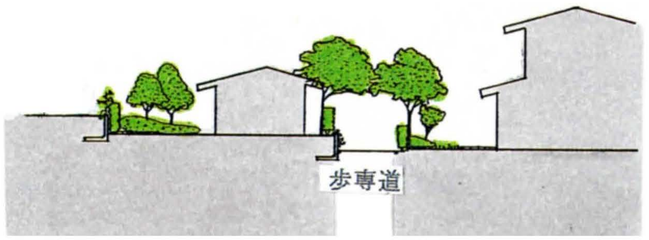
(B-1地点)凡例

ウ.各戸シンボル樹	ケ.住区シンボル樹(角地高木)
イ.住区緑蔭並木	エ.連続生垣(花もの)
ク.回廊緑化	コ.アイストップ緑化

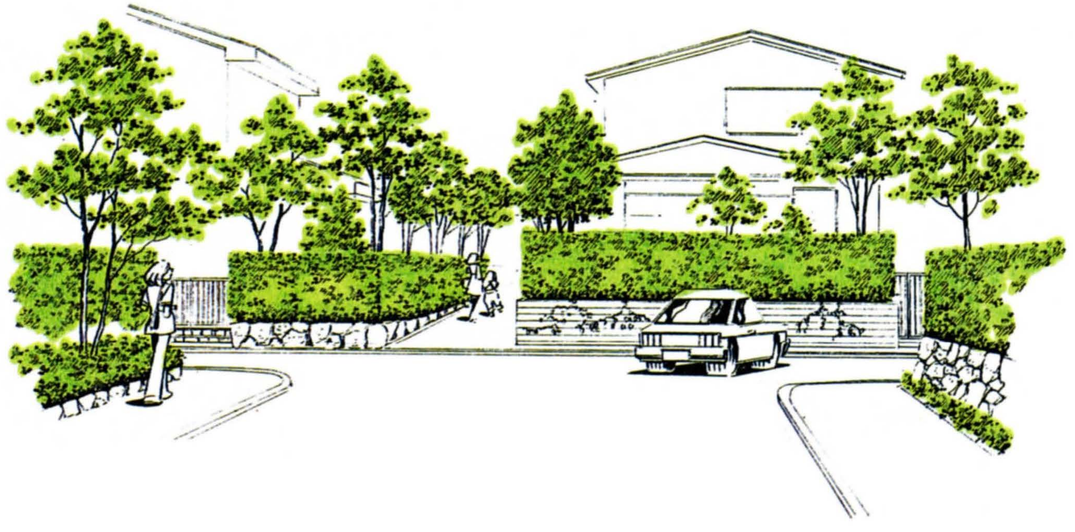
■断面図(X—X')



■断面図(Y—Y')

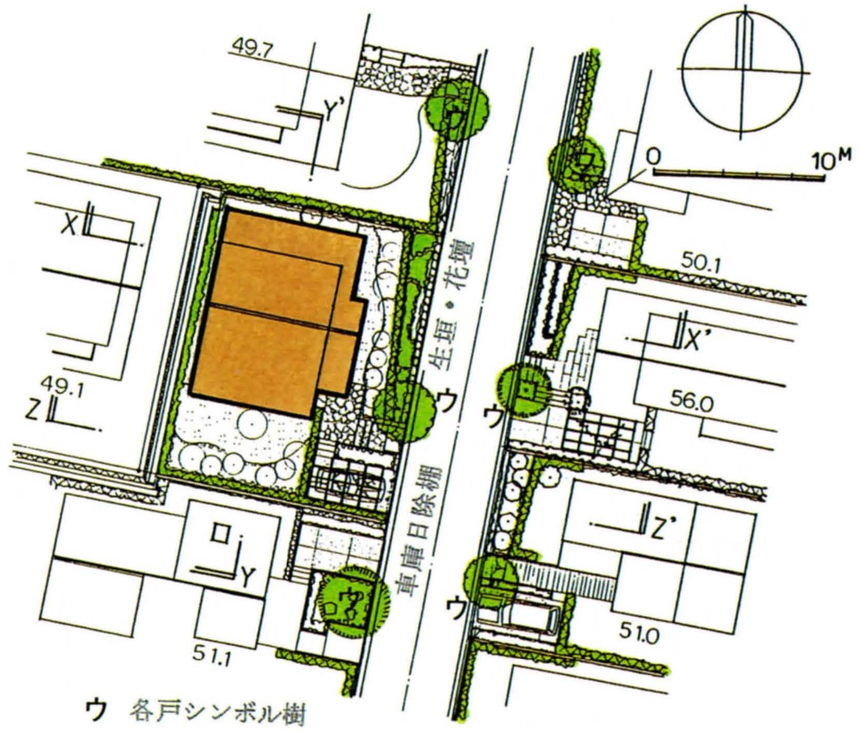


■パース



■戸建住宅地B-2地点

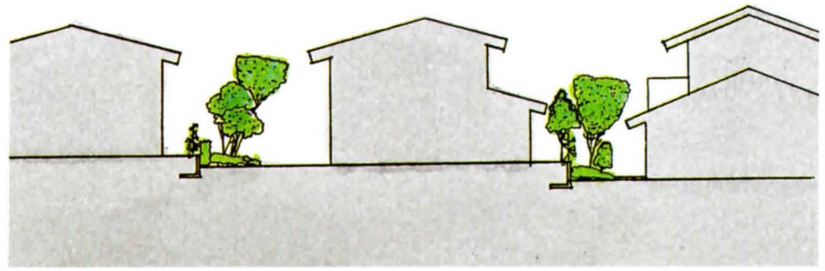
■平面図



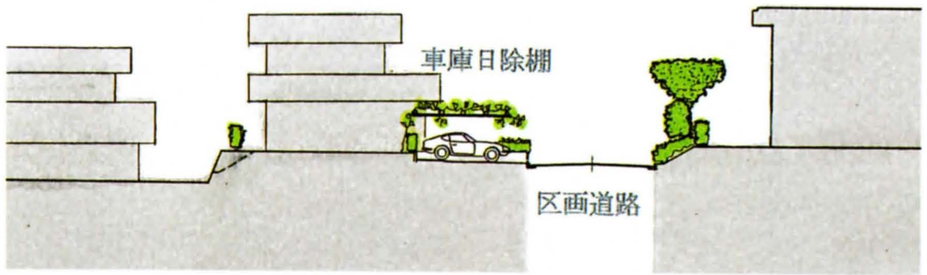
ウ　各戸シンボル樹

■断面図(X—X')

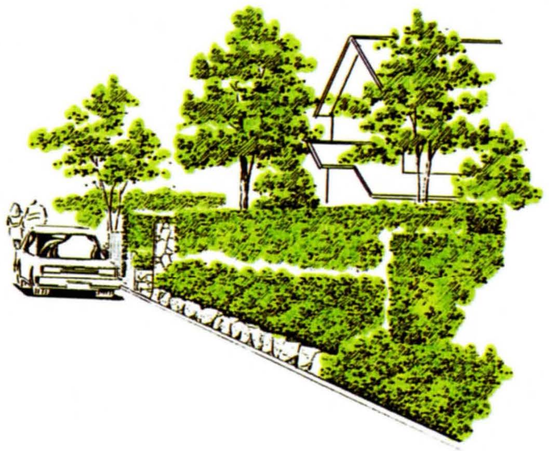
■断面図(Y—Y')



■断面図(Z—Z')

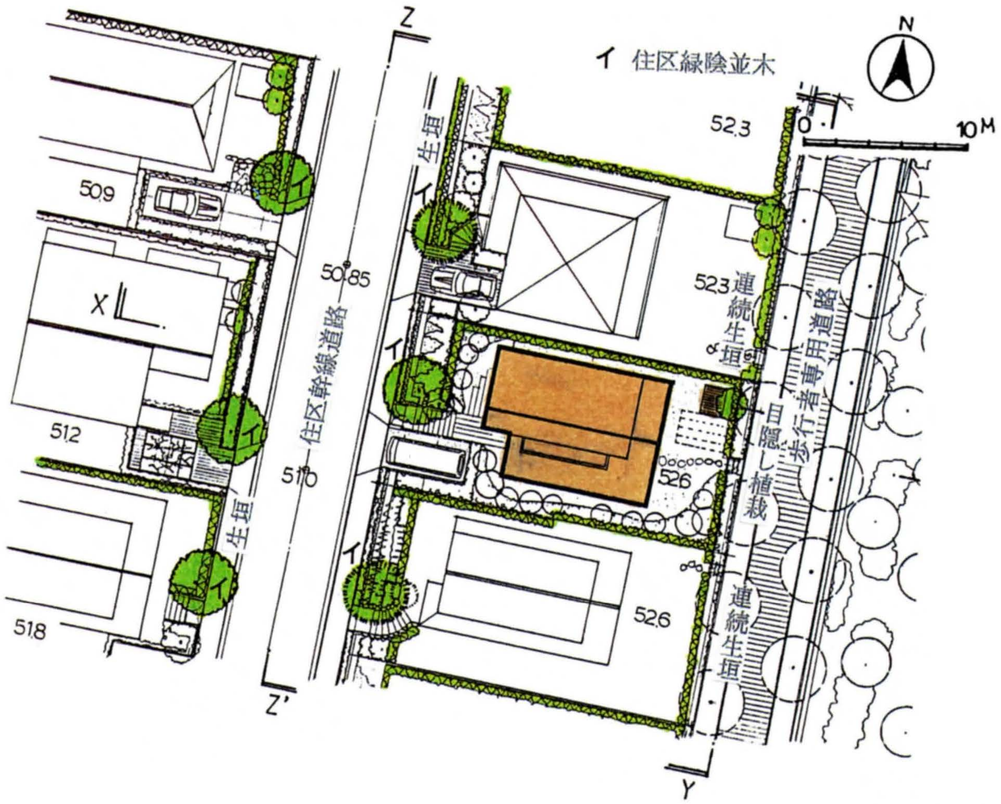


■パース

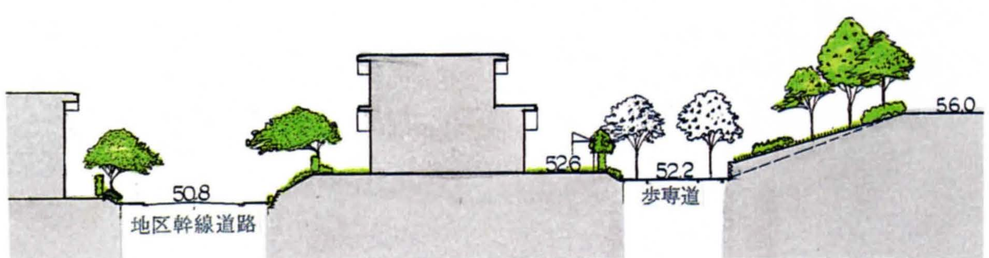


■戸建住宅 B-3地点

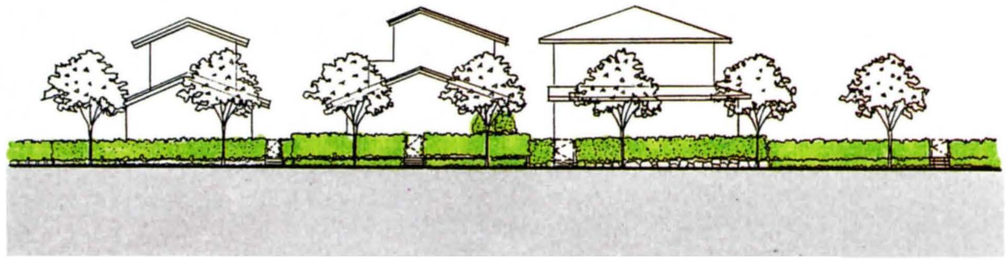
■平面図



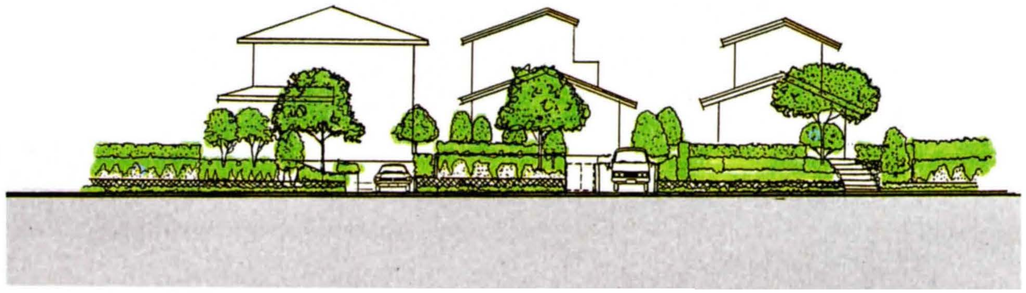
■断面図(X—X')



■正面図(Y—Y')



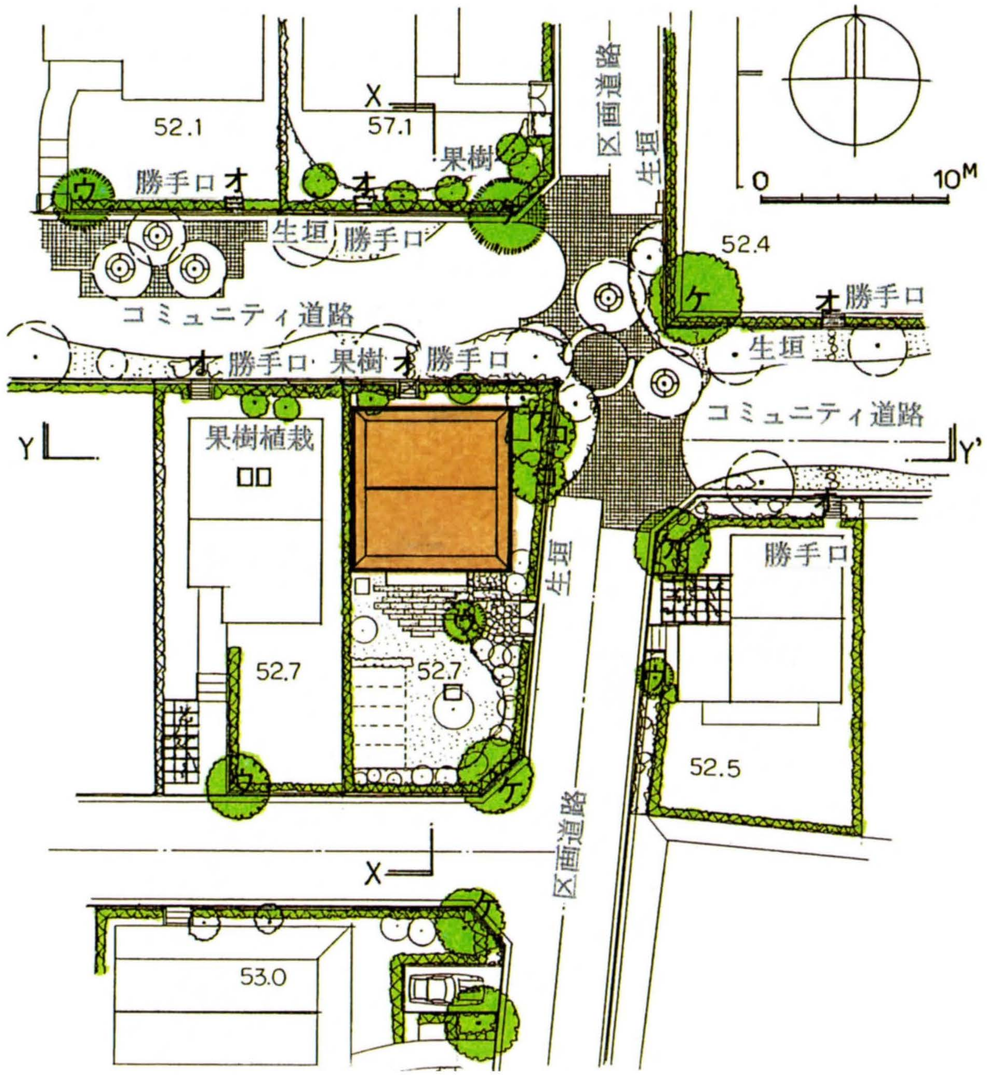
■正面図(Z—Z')



■パース

■戸建住宅地B-4地点

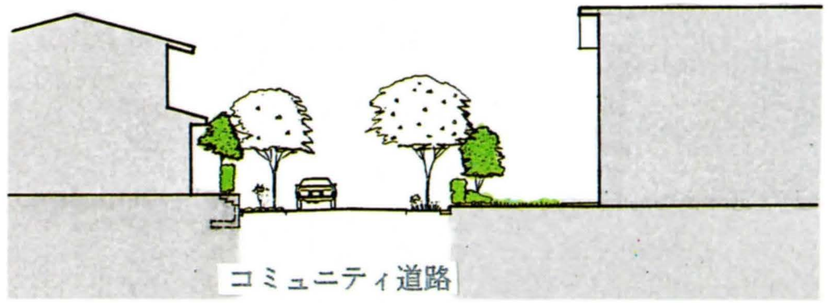
■平面図



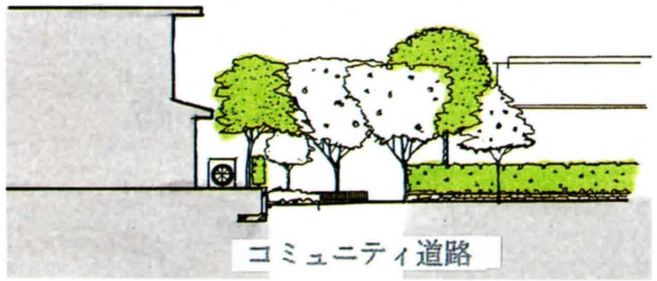
(B-4地点)凡例

ウ.各戸シンボル樹　**ケ**.住区シンボル樹(角地高木)
オ.勝手口緑化　**コ**.アイストップ緑化

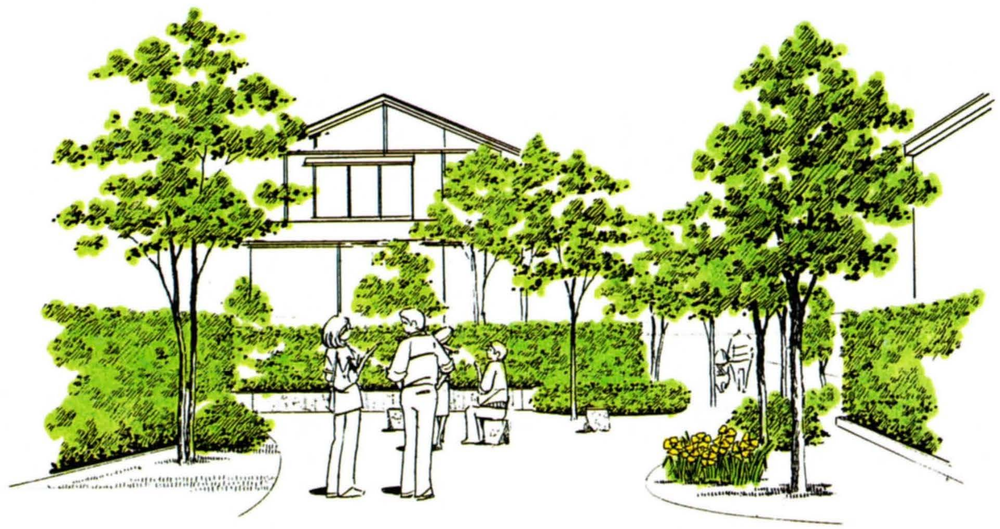
■断面図(X—X')



■断面図(Y—Y')



■パース



⑵植栽計画例

道路沿いの緑化は、にわづくりとまちづくりの接点にあたるため、ここでは石積や法面の措置を含むよりよい植栽計画例を提示しております。

なお、ここでの植栽用語や樹種例はつぎのとおりです。

ア．植栽用語

(ア)　高木：植栽時2.5M～3.0M程度の木

(イ)　中木：植栽時1.5M～2.0M程度の木

(ウ)　低木：植栽時30cm～50cm程度の木

イ．植栽計画樹種例（○印陽樹・●印陰樹）

(ア)　住区導入並木（高木）

常緑　○クスノキ　○タイサンボク　シラカシ　○ヤマモモ

落葉　○ケヤキ　○コブシ　○コナラ　エゴノキ　○ヤマザクラ　○イヌシデ

(イ)　住区シンボル樹（角地の高木）

常緑　クロガネモチ　●モチノキ　シラカシ　○アラカシ

落葉　○エンジュ　○コブシ　○ヤマボウシ　ハナミズキ　○ハクモクレン

(ウ)　住区緑陰並木（高木・中木）

常緑　ゲッケイジュ　○ソヨゴ　オガタマノキ　○サンゴジュ

落葉　○ナナカマド　ナツツバキ　○カナメモチ　○サルスベリ　●ヤマモミジ　マメザクラ　○リョウブ　○ネムノキ　●イロハモミジ

(エ)　各戸シンボル樹（中木）

常緑　●イヌツゲ　●カクレミノ　サザンカ　○キンモクセイ　●オトメツバキ　ヒイラギ　モクセイ　ユズリハ　○ウバメガシ　●モッコク

落葉　○ライラック　○ハナズオウ　○ムクゲ　○ウメ　○モクレン　●ノムラモミジ　○マンサク　○ハナカイドウ　○シモクレン　○サルスベリ

(オ)　回廊緑化（高木）

常緑　シラカシ

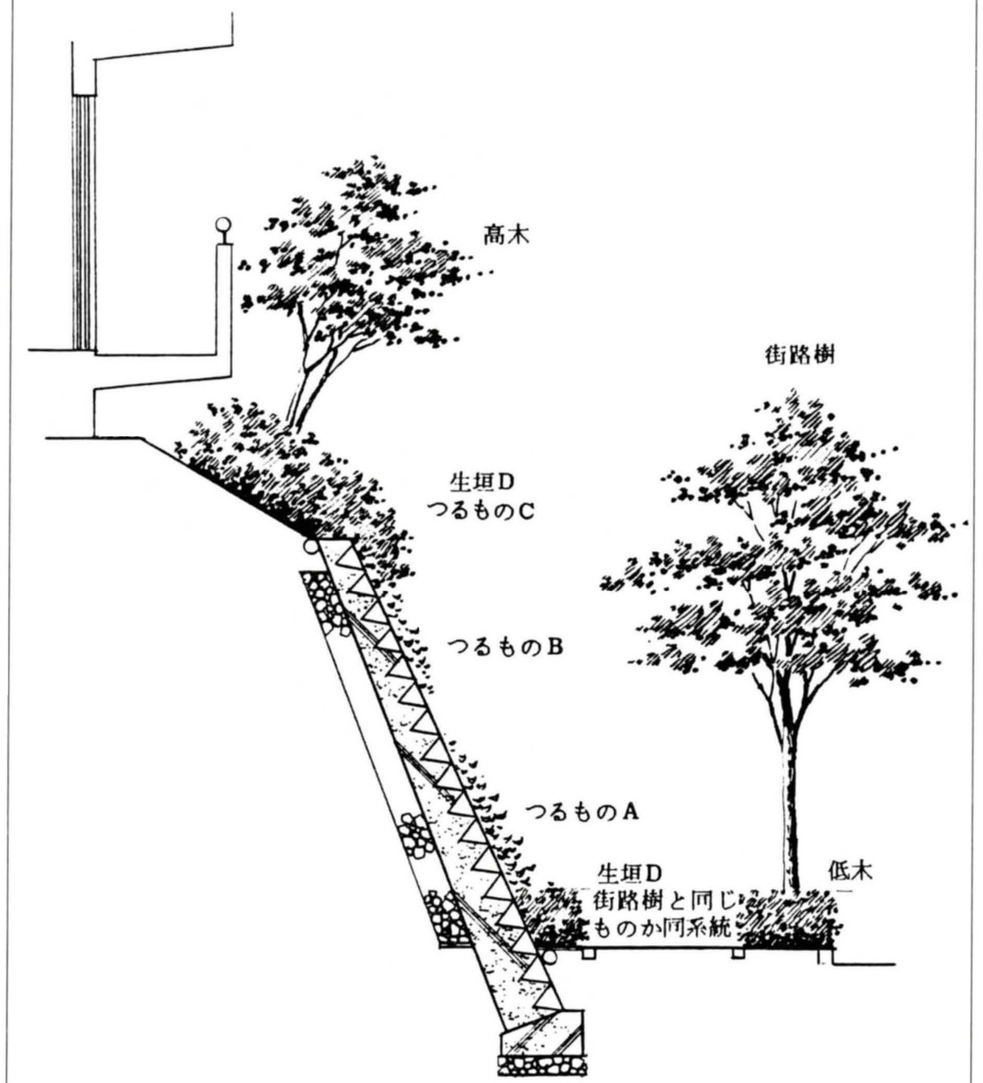
落葉　○エンジュ　○ヤマボウシ　●ヤマモミジ　ハナミズキ

(カ)　勝手口緑化（目隠・食用のつるもの・花もの）

ユズリハ　●カクレミノ　ヒイラギモクセイ　●ヒイラギ　●イヌツゲ　サンゴジュ　ゲッケイジュ　●モッコク　○キンモクセイ　サンショウ　●ナンテン　サザンカ　○ムクゲ　●ムベ　●キズタ　○ナツヅタ　○ツルバラ　○ウメ　○カキ　●ユズ　●キンカン

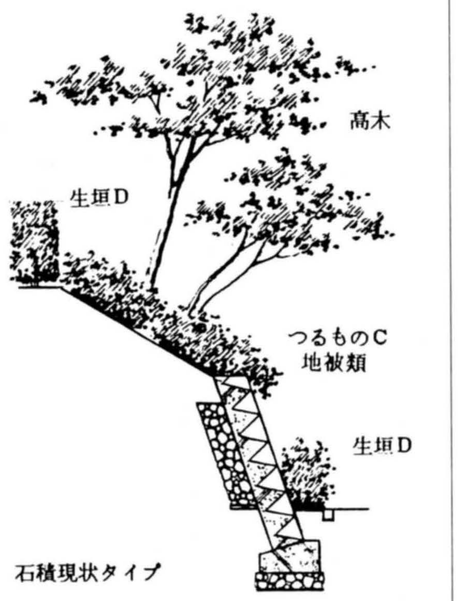
植栽計画タイプⅠ　地区幹線道路沿い宅地と道路の高低が2.5ｍ以上

断面ア　石積現状タイプ

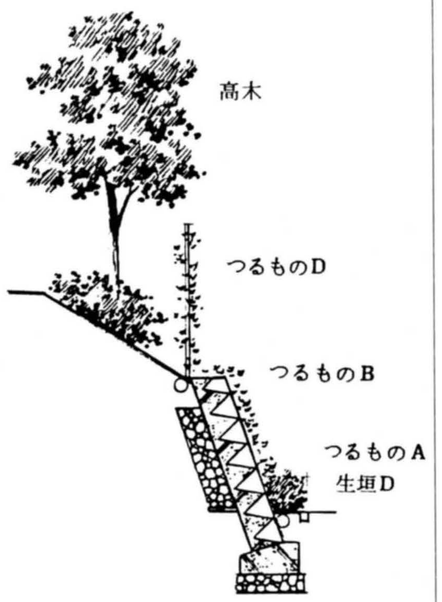


植栽計画タイプII　宅地と道路の高低差が1.5m以上2.5m未満

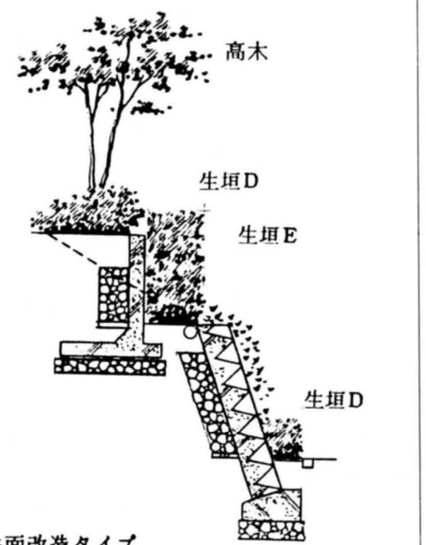
断面ア



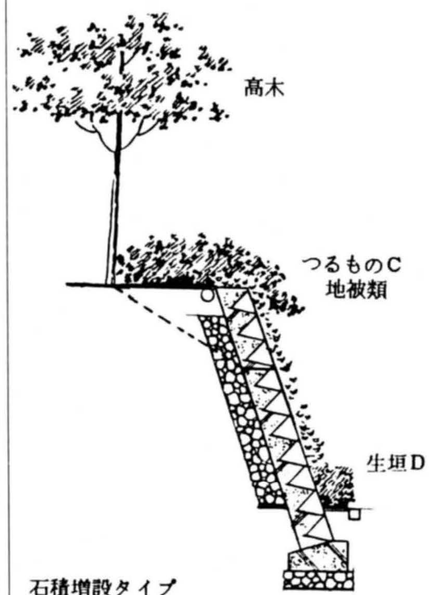
断面イ



断面ウ

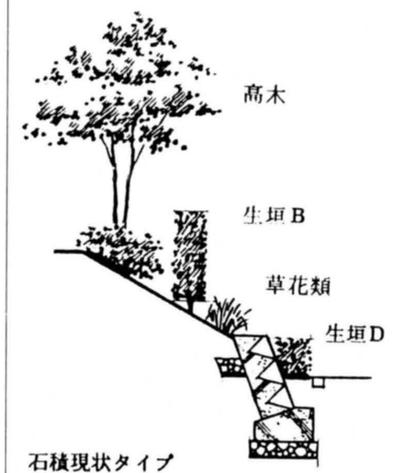


断面エ

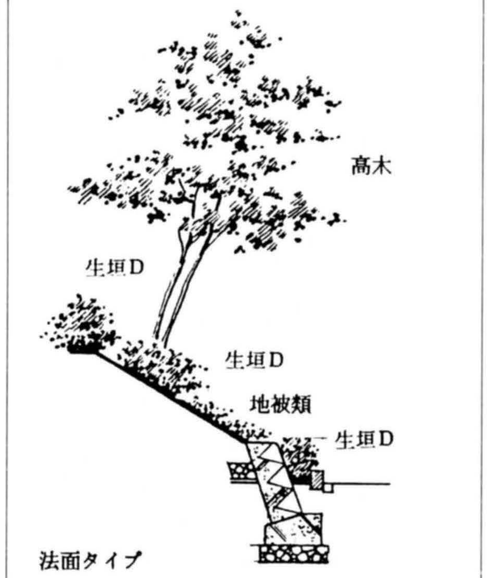


植栽計画タイプIII　宅地と道路の高低差が1m以上1.5m未満

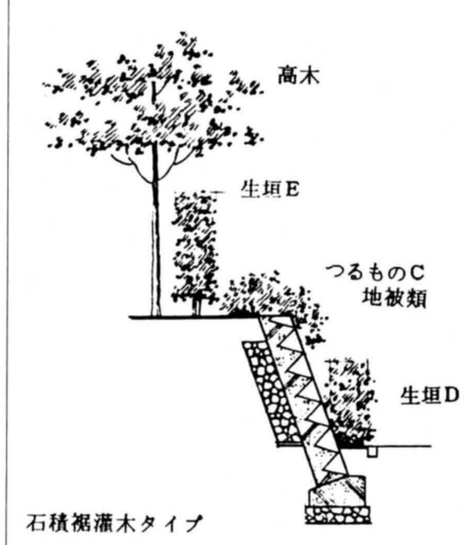
断面ア



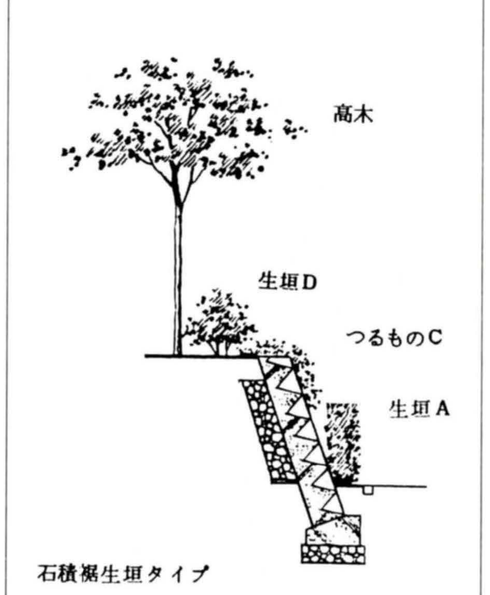
断面イ



断面ア

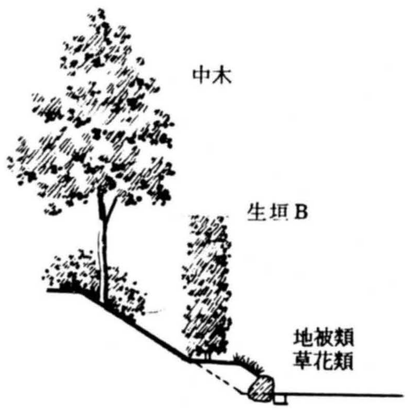


断面エ



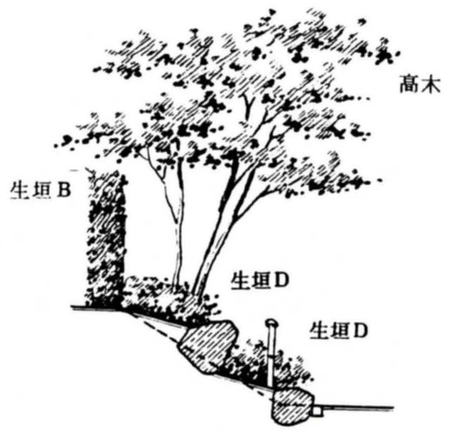
植栽計画タイプⅣ　宅地と道路の高低差が１ｍ未満

断面ア



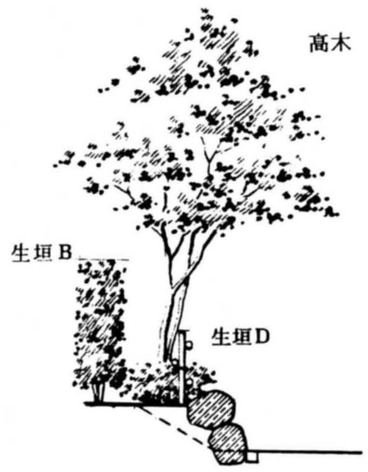
生垣タイプ

断面イ



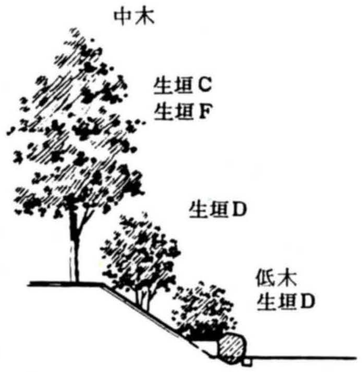
和風庭園タイプ

断面オ



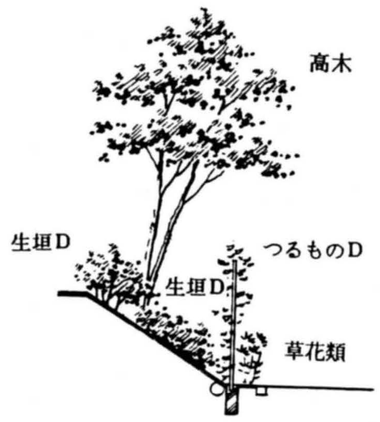
乱れ積みタイプ

断面カ



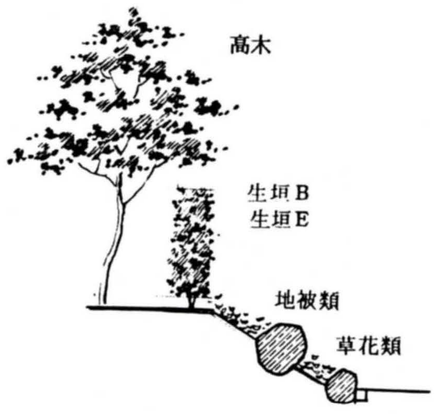
段垣タイプ

断面ウ



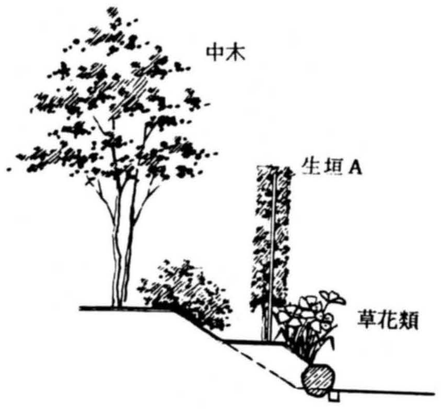
フェンス＋つるものタイプ

断面エ



ロックガーデンタイプ

断面キ



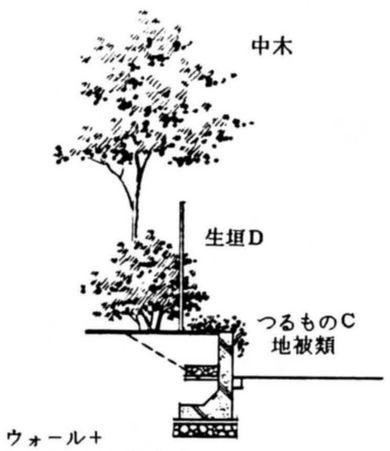
細生垣タイプ＋土るいタイプ

断面ク

褶石タイプ

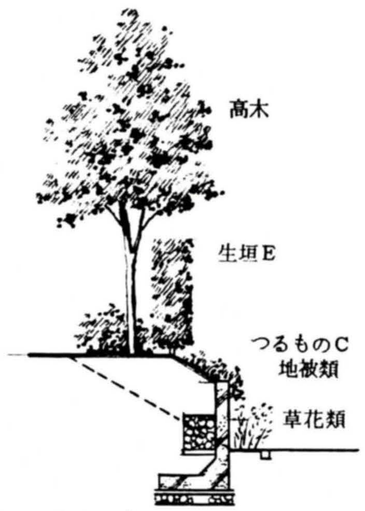
植栽計画タイプⅤ　宅地と道路の高低差が１ｍ未満の場合

断面ア



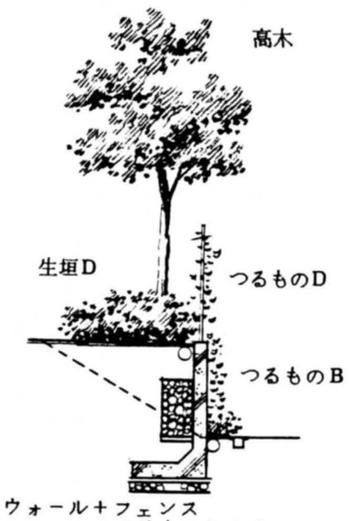
ウォール＋
フェンスタイプ

断面イ



ウォールタイプ

断面ウ

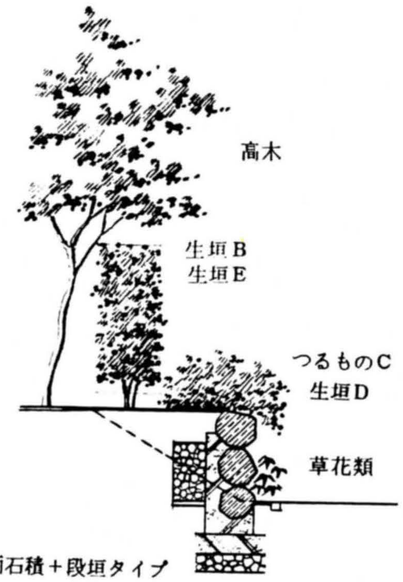


ウォール＋フェンス
＋つるものタイプ

断面エ

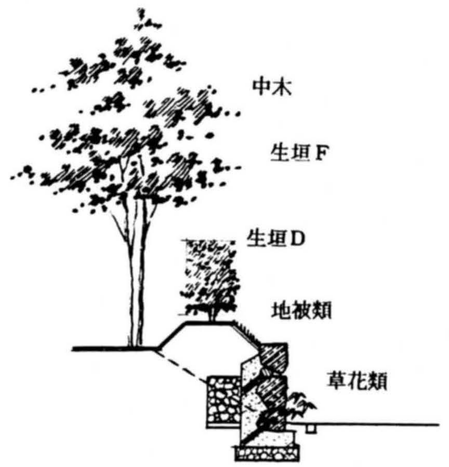
ウォール＋フェン
＋つるものタイプ

断面オ



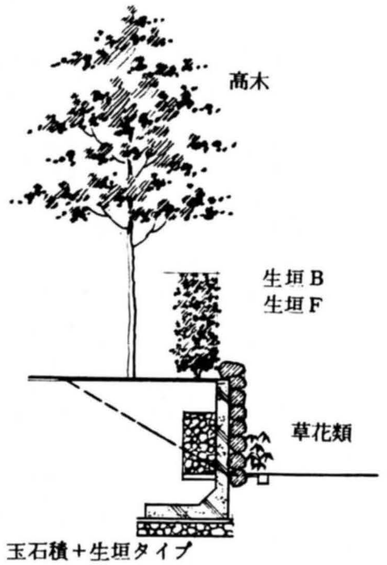
野面石積＋段垣タイプ

断面カ



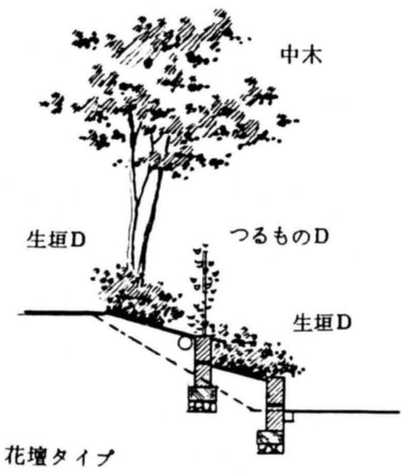
石積＋土るいタイプ

断面キ



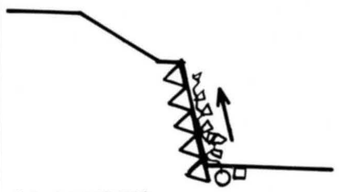
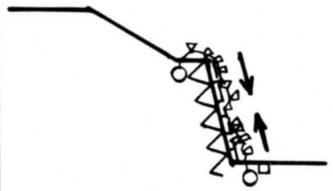
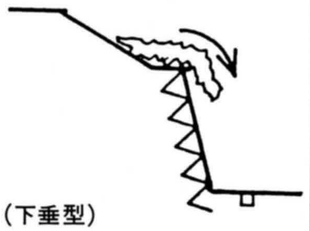
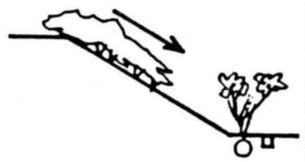
玉石積＋生垣タイプ

断面ク



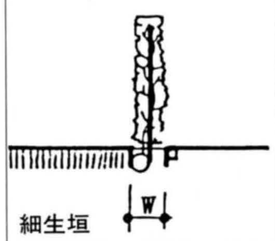
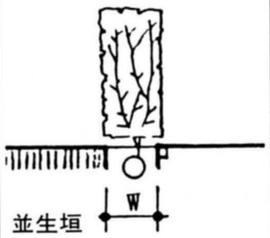
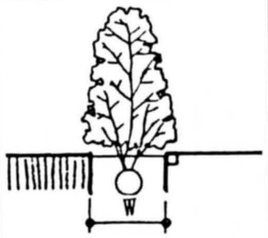
花壇タイプ

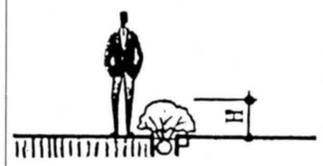
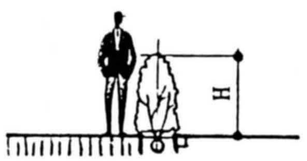
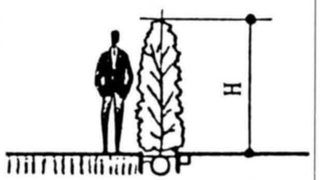
生垣用植物(つるもの、地被編)

生垣区分	つるものA	つるものB	つるものC	つるものD	地被類草花類
植栽場所	石積ウォール	石積ウォール	石積ウォール	フェンス	法面
断面	 (自力登攀型)	 (誘引補助力型)	 (下垂型)	(自力登攀型、誘引補助力型)	
注意事項	滑らかな面は登攀しにくい。	ウォール面にネットや鉄線等の誘引補助材が必要である。	石積ウォールの天端は乾燥しやすいので保水性の高い養生をする。	ネットフェンス又は目の細かい格子のフェンスとする。	法面は乾燥しやすいので灌水をこまめに行なう。
1m当り必要本数	4～6本/m	3～6本/m	2～3本/m	3～6本/m	10～40本/m²
陽当りのよい地を好む樹種 (日照時間は1日中を必要とする)	○ナツヅタ○ノウゼンカズラ ○アメリカヅタ	○クレマチス○ツルバラ	●ビンカマジョール ○レンギョウ ●コトネアスター類 ○エニシダ●シバザクラ ●マツバギク○ウツギ類	●ツルグミ●サルトリイバラ ○クレマチス○ツルバラ ○ナツヅタ	(地被類) ●ササ類(オカメザサ、コグマザサ) ●コトネアスター類 ●シバザクラ●マツバギク ○ハギ (草花類) ○ヘメロカリス●アジュガ ●セキショウ●スイセン ●フランスギク●ヒガンバナ
半日陰地でも育つ樹種 (日照時間は3～4時間を必要とする)	○ナツヅタ○アメリカヅタ ○トウテイカカズラ	●ムベ○アケビ ●カロライナジャスミン ○ヤマブドウ●ビグノニヤ ●スイカズラ ●ツキヌキニンドウ ●ビナンカズラ ○ナツユキカズラ	○ユキヤナギ●アベリア ●ヒペリカムヒデコート ●ヒペリカムカリシナム ●コトネアスター類 ○ミヤギノハギ ●ナワシログミ	○ナツユキカズラ○アケビ ●ムベ●ビナンカズラ ●スイカズラ ●カロライナジャスミン ○ナツヅタ	(地被類) ●ササ類(クマザサ、チゴザサ) ●カロライナジャスミン ●ツキヌキニンドウ ●ヒペリカムヒデコート ●トウテイカカズラ ●ヒペリカムカリシナム (草花類) ●カンアオイ●ユキノシタ ●フツキソウ●セキショウ ●ハラン●ヤブコウジ
日陰地に耐える樹種 (日照時間は3時間以下でも育つ)	●イタビカズラ ●ヒメイタビカズラ ●オオイタビカズラ ●ツルマサキ ●テイカカズラ ●ヘデラピッツバーグ ●ヘデラコルシカ ●キヅタ(フユヅタ)	●ツルマサキ ●ヘデラヘリックス ●ヘデラカナリーエンシス ●イタビカズラ類 ●テイカカズラ ●キヅタ(フユヅタ)	●ヘデラカナリーエンシス ●ヘデラヘリックス ●ツルマサキ ●ツルアジサイ ●テイカカズラ	●テイカカズラ●ツルマサキ ●イタビカズラ類 ●キヅタ(フユヅタ) ●ヘデラカナリーエンシス ●ヘデラヘリックス	(地被類) ●テイカカズラ●ツルマサキ ●ヘデラカナリーエンシス ●ヘデラヘリックス (草花類) ●シャガ●リュウノヒゲ ●セキショウ ●キチジョウソウ ●ヤブラン●ツワブキ ○ギボウシ

●は常緑樹、○は落葉樹を示す。※花の観賞を対象とする場合は陽当りの良い所に植えて下さい。

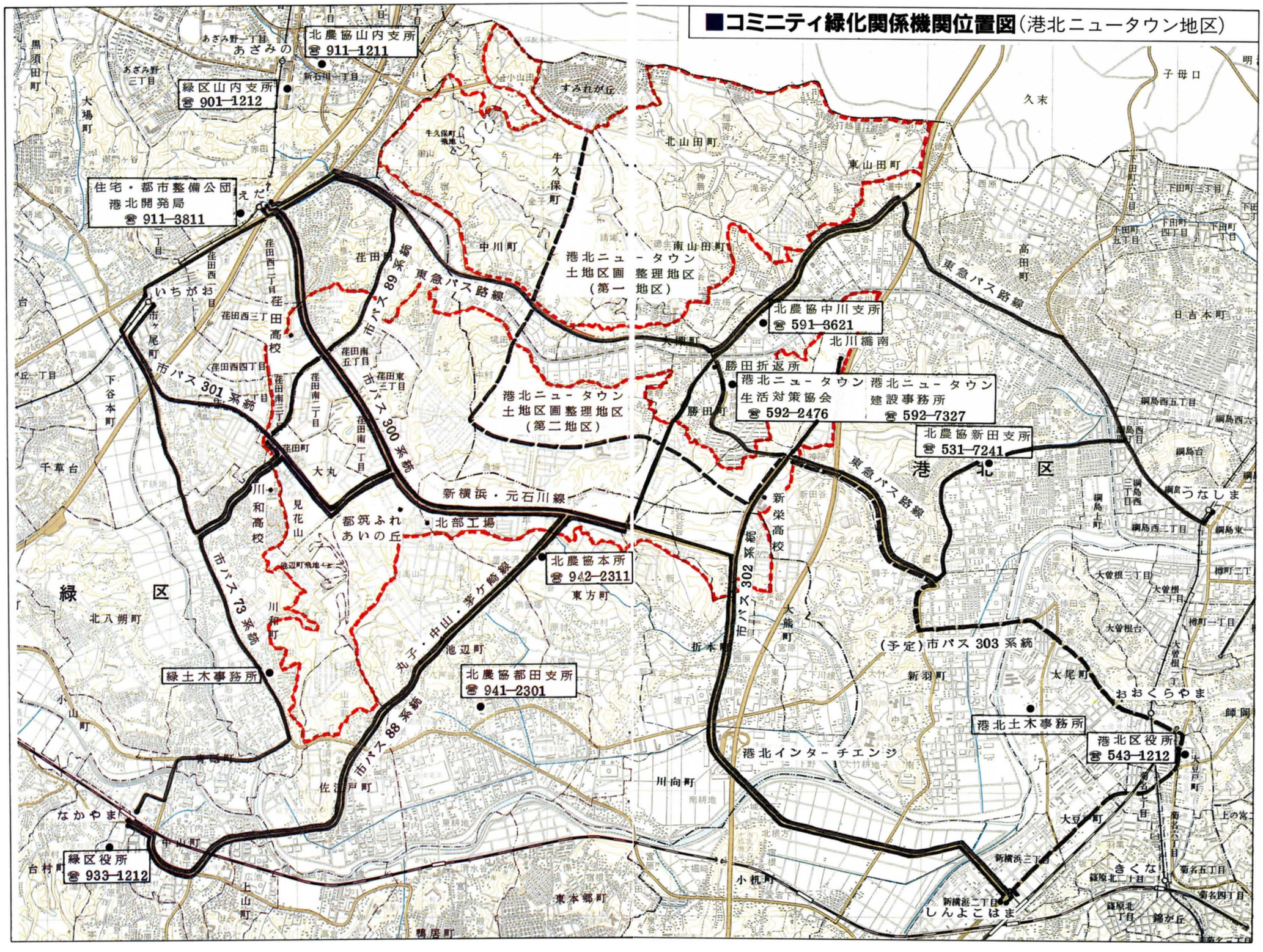
生垣用植物（樹木編）

生垣区分	生　垣　A	生　垣　B	生　垣　C
植栽巾仕上り高さ	W＝20cm	W＝40cm	W＝80cm
断　面	 細生垣	 並生垣	
注意事項	植栽地が狭いのでこまめに管理を行なう。	仕上り予定高、巾をきめてこまめに管理を行なう。	自然樹形を生かした生垣、比較的管理（剪定）が楽である。
1m当り必要本数	4～6本/m	3～4本/m	1.0～1.5本/m
陽当りの良い地を好む樹種（日照時間は1日中を必要とする）	○レンギョウ(支柱を要す) ●カナメモチ ●ウメモドキ ●イヌツゲ○ハギ(支柱) ●コトネアスター類(支柱) ○ドウダンツツジ	●ウバメガシ●カナメモチ ●キンモクセイ○ムクゲ ●コノテガシワ●ソヨゴ ●オウゴンシノブヒバ	●キンモクセイ ●ヒムロスギ ●コノテガシワ●アラカシ ●ヤマモモ●カナメモチ ●ウバメガシ
半日陰地でも育つ樹種（日照時間は3～4時間を必要とする）	●アベリア(支柱を要す) ●ハクチョウゲ ○イボタノキ ●イヌツゲ●ラカンマキ ○コデマリ●クチナシ ○ユキヤナギ	●サザンカ●ラカンマキ ●イヌマキ●ネズミモチ ●シラカシ●マサキ	●ヤマツバキ●サンゴジュ ●シラカシ●ネズミモチ ●ラカンマキ●シイノキ ●ヒイラギモクセイ ●ゲッケイジュ ●オガタマノキ
日陰地に耐える樹種（日照時間は3時間以下で育も育つ）	●イヌツゲ●キャラボク ●ヒサカキ●ツガ ●ナンテン ●ハマヒサカキ	●トウネズミモチ ●キャラボク ●マルバヒイラギ	●サカキ●ヒイラギ ●モチノキ●コウヤマキ ●モッコク ●マルバヒイラギ

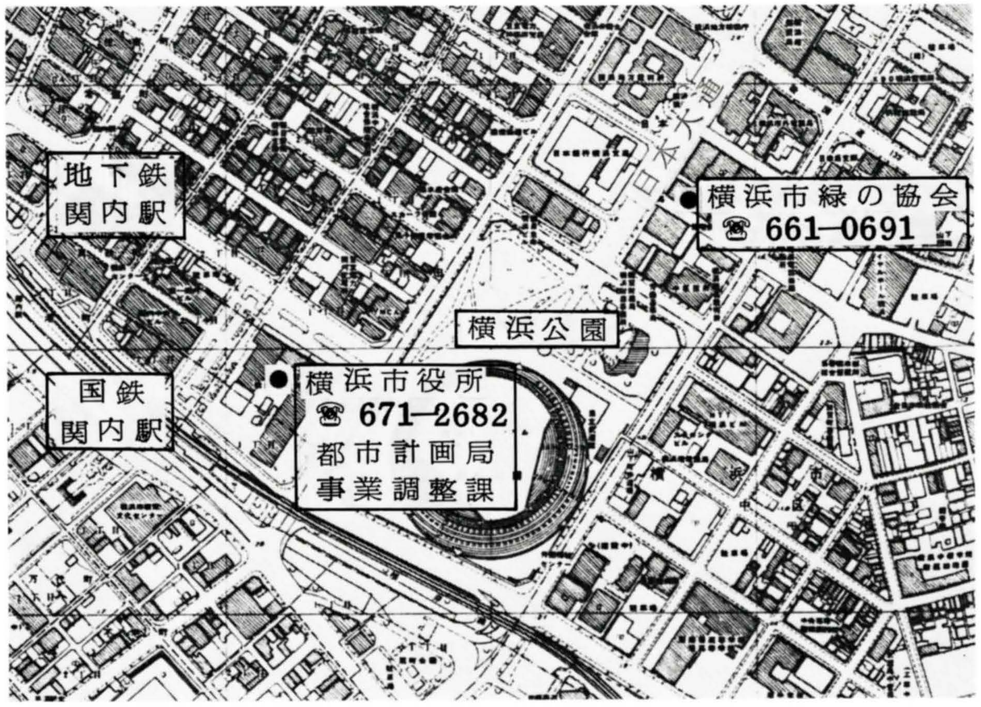
生　垣　D	生　垣　E	生　垣　F
H＝50cm以下	H＝100～150cm	H＝200cm以上
 低生垣	 並生垣	 高生垣
道路園路沿いは踏まれやすいので裾石などを設ける。	仕上り予定高をきめ、こまめに管理する。	樹木の下枝が枯れやすいので根と葉のバランスをみて管理する。自然樹形を生かした生垣
3～5本/m	2～3本/m	0.5～2本/m
●ササ類●キリシマツツジ ●トベラ●クルメツツジ ●ナワシログミ●プリベット ●ボックスウッド ●ビヨウヤナギ ●サツキツツジ ●オオムラサキツツジ ●ヒラドツツジ ○ドウダンツツジ	●キンモクセイ ●ウバメガシ ●カナメモチ●ムクゲ ●セイヨウバクチノキ	●キンモクセイ●アラカシ ●コノテガシワ ●オウゴンシノブヒバ ●ウバメガシ ●セイヨウバクチノキ ●アラカシ●ヤマモモ ●ソヨゴ●カナメモチ
●アベリア●クチナシ ●ヤマブキ●クサツゲ ●カンツバキ●ハクチョウゲ ○コデマリ ○シャリンバイ	●モッコク●イチイ ●イヌツゲ●オトメツバキ ●ゲッケイジュ ●サザンカ ●ヒイラギモクセイ ●シラカシ●アカガシ ●ネズミモチ	●アカガシ●イヌマキ ●ラカンマキ●マテバシイ ●ヒイラギモクセイ ●シラカシ●オトメツバキ ●ヤマツバキ●ゲッケイジュ ●サンゴジュ●タブノキ ●シイノキ●オガタマノキ ●クロガネモチ ●ネズミモチ
●アオキ●アセビ ●ジンチョウゲ ○アジサイ●ナンテン ●トベラ●ハマヒサカキ ●フイリアオキ	●イヌツゲ●キャラボク ●ヒイラギ●トウネズミモチ ●モッコク●ツガ●ヒサカキ ●ユズリハ●マルバヒイラギ	●ヒイラギ●モチノキ ●サカキ●トウネズミモチ ●コウヤマキ●モッコク

●は常緑樹、○は落葉樹を示す。花の観賞を対象とする場合は陽当りの良い所に植えて下さい。

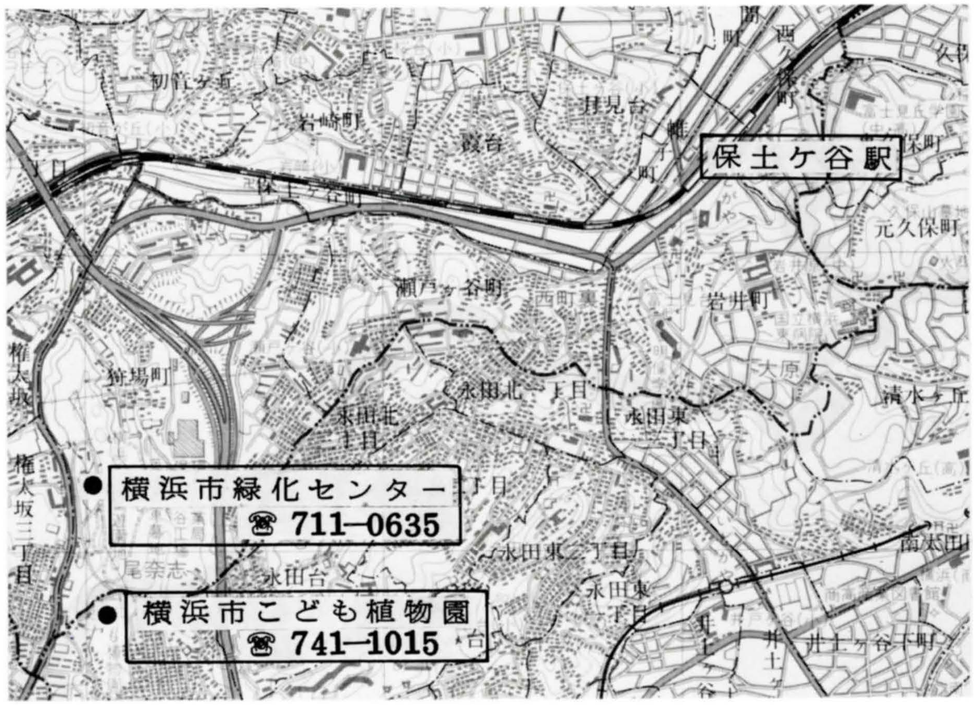
■コミニティ緑化関係機関位置図（港北ニュータウン地区）



（関内地区）



（保土ヶ谷地区）



電話番号の訂正

P、５８〜５９

★住宅・都市整備公団　港北開発局　　℡９４３−７３９３

★緑区山内支所　→　緑区北部支所　　℡９６３−２３２３

★港北ニュータウン生活対策協会　　℡９４２−８７４５

★港北ニュータウン建設事務所　　℡９４２−２４８１

P、６０

★横浜市緑の協会　　℡２１２−７８０４

★横浜市役所　　℡６７１−２１２１

にわづくり　まちづくり

昭和61年９月発行

発　　行　(財)港北ニュータウン
生活対策協会

〒223 横浜市港北区茅ヶ崎町２０３１
℡045-942-8745

編　　集　港北ニュータウンコミュニティ緑化
ガイドブック編集委員会

植栽計画　樋口建築＋造園計画事務所
TEL.045—933—0529

印　　刷　朝日オフセット印刷株式会社
TEL.045—511—0141

発行　財団法人　港北ニュータウン生活対策協会